

第1回

倶知安町景観計画・緑の基本計画検討会議

参考資料

令和2年7月15日

目次

倶知安町景観計画・緑の基本計画検討会議設置要綱……………1

羊蹄山麓広域景観づくり指針について……………3

倶知安での暮らしのあり方と将来の景観を考える

(令和2年7月9日 景観まちづくり勉強会 笠間委員講演資料)……………11

倶知安町の景観・緑に関するアンケート……………22

(目的)

第1条 この要綱は、景観法（平成16年法律第110号）第8条に規定する景観計画（以下「景観計画」という。）の策定及び都市緑地法に基づく（昭和48年法律第72号）第4条に規定する市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画（以下「緑の基本計画」という。）の策定にあたり、幅広い観点からの検討を行い、当町の良い景観の形成並びに都市の緑地の保全及び緑化の推進に資する計画とするため、俱知安町景観計画・緑の基本計画検討会議（以下「検討会議」という。）を設置することについて、必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事項)

第2条 検討会議は、次に掲げる事項について検討するものとする。

- (1) 景観形成の理念、目標及び基本方針等に関すること。
- (2) 緑地の保全及び緑化の推進のための目標、施策等に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、景観計画及び緑の基本計画に必要な事項。

(組織)

第3条 検討会議は、委員15名以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 俱知安町景観審議会委員
- (2) 関係団体の推薦する者
- (3) 公募による町民
- (4) その他町長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、令和4年3月31日までとする。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長及び副座長)

第5条 検討会議に座長及び副座長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 座長は、会務を総理し、検討会議を代表する。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検討会議は、座長が招集する。ただし、座長が互選される前に招集する会議は、町長が招集する。

2 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を検討会議に出席させ、説明若しくは意見を聞き、又は必要な資料の提供を求めることができる。

(部会)

第7条 第2条に定める所掌事項について、専門的かつ地域特性を踏まえた視点による調査及び検討を行うため、検討会議に市街地景観検討部会及び景観地区検討部会（以下「部会」という。）を置く。

2 各部会は、部会員8名以内で組織する。

3 各部会の部会員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

(1) 検討会議の委員で、座長が推薦する者

(2) 関係団体の推薦する者

(3) その他町長が必要と認める者

4 部会員の任期は令和4年3月31日までとする。

5 各部会に部会長を置き、検討会議の委員のうちから、座長が指名する。

6 部会長は、部会を代表し、部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名する部会員がその職務を代理する。

7 部会の会議は、部会長が招集する。

(庶務)

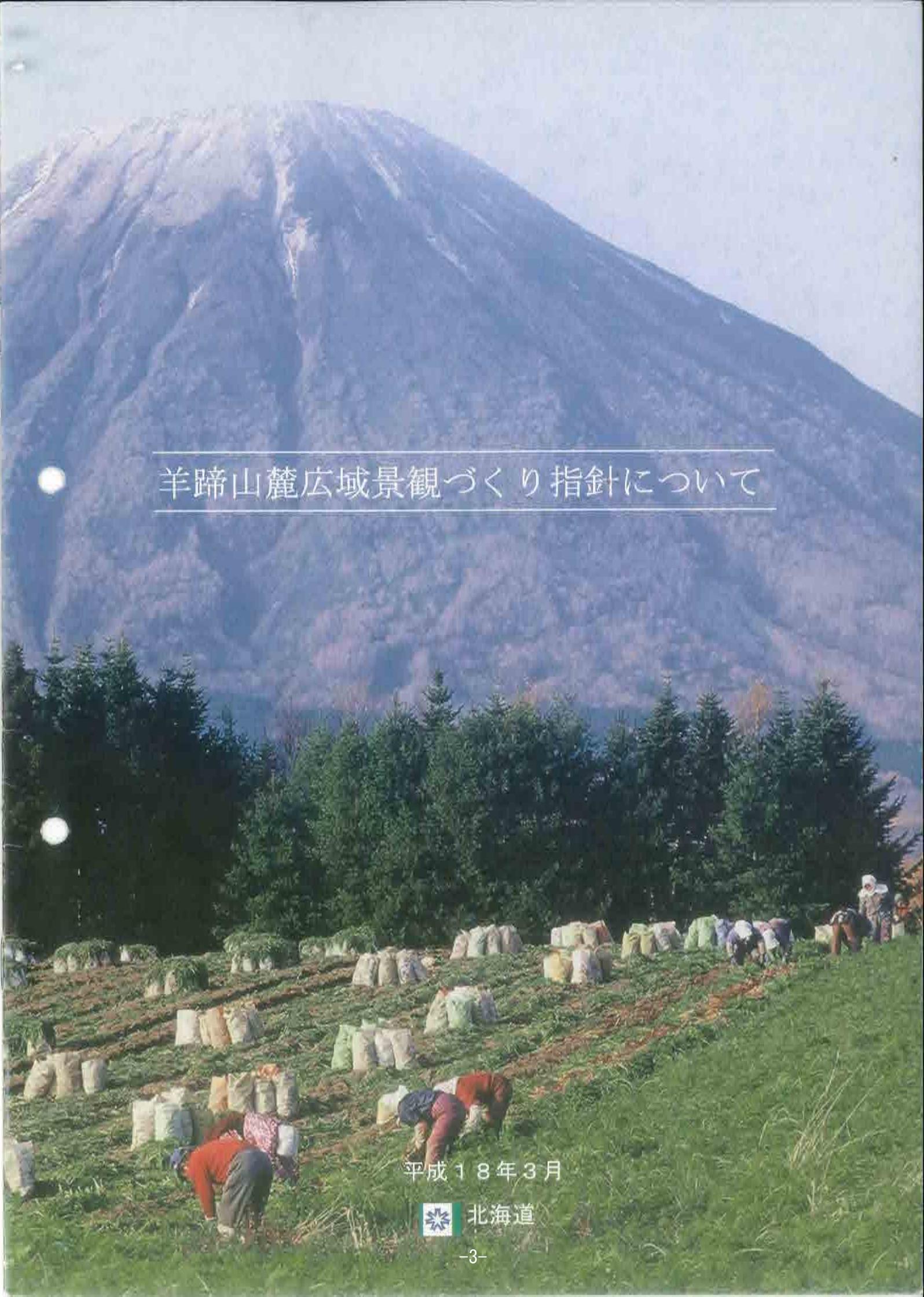
第8条 検討会議及び部会の庶務は、まちづくり新幹線課において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、座長が検討会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和2年6月1日から施行し、令和4年3月31日をもって失効する。



羊蹄山麓広域景観づくり指針について

平成18年3月



地域独特の美しい景観を守り、創り、整えていきましょう。

私たちが暮らす広大な北海道は、美しく雄大な自然に恵まれており、その中で北国の気候や風土に合った生活や産業の営みの積み重ねによって歴史が刻まれ、それぞれの地域において、個性的な街並みや田園風景など北海道らしいさまざまな景観が形づくられてきました。このような景観は、私たちの生活に潤いをもたらす、地域に対する誇りと愛着を生み出すとともに、訪れる人々をも魅了する貴重な財産です。

魅力ある地域社会の実現を図るため、道では、「北海道美しい景観のくにつくり条例」に基づき、道民、事業者、市町村及び道の適切な役割分担による協働により景観づくりを進めていくこととしています。特に、複数の市町村にまたがる広域的な景観づくりについては、道が「広域景観づくり推進地域」として指定するとともに、あわせて景観づくりの目標や考え方を示す「広域景観づくり指針」を定めることとしています。

平成17年8月、広域的な景観づくりの機運が高まっていた羊蹄山麓7町村(蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町)において「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」が設立され、条例に基づく広域景観づくり推進地域の指定の申出がなされました。道ではこれを受け、地元町村や住民などの意見を踏まえ、この度、7町村のエリアを「羊蹄山麓広域景観づくり推進地域」として指定を行い、あわせて「羊蹄山麓広域景観づくり指針」を策定しました。

美しく雄大な自然に恵まれたこの地域の良好な景観を守り、創り、整えていくために、今後、この指針に基づき、地域が一体となって広域景観づくりの取組みを推進するよう期待いたします。

平成18年3月

北海道知事 高橋 はるみ

<指針策定に至るまでの経緯>

美しい北の国のグランドデザイン(平成11年3月)

- ・北海道の景観づくりの基本的な目標
- ・目標の実現に向けた取組みの考え方

まもり、つくり、ととのえよう、美しい北の国づくり

制度的な枠組み(道)

北海道の美しい景観のくにつくり条例(平成13年10月)

基本計画(条例第8条)

<施策の展開方向>

1. 道民活動の推進
2. 地域主体による取組みの推進
3. 広域景観づくりの推進
4. 公共事業に係わる景観づくりの推進
5. 専門家の知識などの活用

パートナーシップによる景観づくり

- 道
 - ・条例の理念の普及啓発
 - ・総合的な取組みの促進
 - ・地域の取組みをバックアップ
- 市町村
 - ・住民参加によるルールづくり
 - ・住民などの主体的取組みを促進するための助言や支援
- 道民
 - ・景観づくりの主役として積極的に生活景観の創造
- 事業者
 - ・生産活動や企業活動などを通じて景観づくりに配慮

・地域の主体的な景観づくり

- ・道民、事業者、市町村の連携
- ・地域の創意あふれる取組みの促進
- ・目標や理念を共有した景観づくり
- ・景観づくりの担い手の育成

・広域景観づくり

- ①機運の醸成
- ②推進地域指定・指針策定
- ③指針に基づく取組み

<複数の市町村にまたがる広域的な連携・協働>

- ・景観形成目標の共有
- ・市町村の枠を越えた広域連携
- ・推進の仕組みづくり

羊蹄山麓広域景観づくり指針(平成18年3月)

広域景観とは？

<地域の「景観」と「暮らし」の関係>

- ① 地域の景観は、『住民の暮らし』や『いとなみの様式(ライフスタイル)』を反映します。
・地域の景観には、そこに住む人々が「地域らしい暮らしの場」をどのように、まもり、つくり、ととのえていこうとしているのかが表れます。
- ② 魅力ある景観の形成は、地域に多様な波及効果をもたらします。
・魅力ある景観形成は、「地域の活性化」や「地域らしい暮らしの実現」「産業振興」につながります。

地域のイメージアップ効果

観光資源の
魅力増強

地域産品の
高付加価値化

定住意識の高揚

<広域景観とは>

- 気候・風土が一体性、共通性を持ち、それらを反映した景観の様相が共通している景観
- 山並みや河川など地形の大きな骨格を共有し、景観構成要素の共有性を有している景観
- 歴史・文化など社会的要因によって、形づくられた建物や環境など一体性、共通性がある景観



<広域的に取り組む意義>

① 意識的な部分での効果

- 愛する自分のまちを「外からの視点」で見る機会になります。
- ほかのまちのことをその気になって考える機会になります。
- 役割分担と連携・支援によって取組みの意欲が高まります。
- 景観上の共同体としての意識共有により、情報発信能力が強化されます。
- 仲間であり、ライバルでもある相互関係が「励み」と「継続性」をもたらします。
- 広域的シンボルや景観軸(河川、道路などの線的つながり)を共有することにより、一体感が強まります。



② 景観形成上の効果

- 地域に共通な課題の解決策や取組手法の有効性が共有化されます。
- 「移動における連続性と変化」、「対比と調和」によって景観演出の効果が高まります。
- 広域的な連携によって「回遊性」や「スケールメリット」が発揮されます。
- 「共有のシンボル」によって「地域イメージ」の印象づけが強化されます。



<はじめに>

- 羊蹄山麓地域の景観は、私たちの貴重な財産であるとともに大切な地域資源であり、共に協力して守り育て、未来の世代へ引き継いでいく責任があります。
- 私たちは、地域への誇りと愛着を持ち、一人一人が景観づくりの担い手であることを自覚し、快適で魅力ある地域を創造していくために、この指針を策定しました。



<広域景観づくりの目標と基本方針>

快適で魅力ある地域を創造していくための目標と基本方針です。

基本目標

日々の暮らしに、潤いと豊かさをもたらしてくれるような美しい郷土づくり

「食」と「観光」を中心とした、地域のさまざまな産業の元気づくり

住民同士の交流や協力による、活気に満ちたふるさとづくり

基本方針

<山並景観>

- ・山並のスカイラインを損なわないように努めます。
- ・森林の開発においても美しい森林景観の保全に努めます。



<沿道景観>

- ・道路工作物などの景観阻害要素の改善に努めます。
- ・ビューポイントや案内標識など景観を楽しむための施設整備にも努めます。



<水辺景観>

- ・尻別川とその支流の固有の生態系の保全・回復と共に、豊かな水辺景観を進めます。
- ・河川利用者のマナーの普及と尻別川利用についてのルールづくりを進めます。



<市街地景観>

- ・自然や風土・気候を大切にしたい街並づくりを進めます。



<田園景観>

- ・農作物のブランド力の向上を図り、農業経営を安定させ、田園景観の維持・向上に努めます。
- ・景観作物などの新たな田園風景の創出や廃屋などの適切な管理に努めます。



<観光地景観>

- ・観光地の土地利用、建物、屋外広告物などが、周囲の自然・田園景観と調和するように努めます。



見づくり指針の概要

＜羊蹄山麓広域景観づくりにあたっての基本的な考え方＞

羊蹄山麓地域の景観づくりを進めるための基本的な考え方です。

- 7町村が「景観を共有する共同体」として、広域的な美しい景観づくりに取り組みます。
- 私たちの生業や暮らしそのものが景観づくりと認識し、地域経済の発展や豊かな暮らしとのバランスの取れた景観づくりに取り組みます。
- 地域らしさを大切にする景観づくりに取り組みます。
- 地域全体で息の長い景観づくりに取り組みます。
- 段階的・継続的な景観づくりに取り組みます。



＜私たちが大切に思い、守り・育てたい景観＞

私たちが大切に思い、守り・育て、未来の世代へ引継いでいきたい景観です。

①羊蹄山と周囲の山並の景観

・羊蹄山、ニセコ連峰、昆布岳、尻別岳といった美しい山並景観



②清流尻別川の景観

・清流日本一に何度も輝く、尻別川による景観



③山並と樹林を背景にした田園景観

・丘陵地の畑、牧草地などと羊蹄山やその山裾に広がる樹林により形成される景観



④自然や気候・風土と調和した市街地景観

・自然や気候・風土に調和した街並景観



＜羊蹄山麓広域景観づくりの推進に向けて＞

私たちは継続的に、そして着実に広域景観づくりを推進していきます。

- 広域景観づくりを推進していくために行動計画(アクションプラン)を策定していきます。
- 7町村で組織される羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会を中心に、各関係機関と連携しながら広域景観づくりを推進していきます。
- 行政、地域住民、民間活動団体、事業者などの役割を明確にして広域景観づくりを推進していきます。

『羊蹄山麓広域景観づくり指針』

(平成18年3月 策定)

はじめに

私たちが暮らす羊蹄山麓地域(蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町)は、四季折々に表情を変える豊かな自然に恵まれ、羊蹄山をはじめとする自然と田園景観が織りなす様子は、他では見ることのできない魅力的なものとなっています。

しかし、近年、地域を取り巻く社会経済状況の変化等により、廃屋や荒れた農地、不法投棄等、地域の美しい景観を損なう事象が目立つようになってきました。

行政界を越えて広域に広がっているこの景観は、私たちの貴重な財産であるとともに大切な地域資源であり、共に協力して守り育て、未来の世代へ引き継いでいく責任があります。

私たちは、地域への誇りと愛着を持ち、一人一人が景観づくりの担い手であることを自覚し、快適で魅力ある地域を創造していくため、この指針を策定します。

1. 広域景観づくりの目標

- ① 私たちは、日々の暮らしに、潤いと豊かさをもたらしてくれるような、美しい郷土をめざします。
- ② 私たちは、「食」と「観光」を中心に、農業をはじめとする地域のさまざまな産業がより元気になることをめざします。
- ③ 私たちは、住民同士が交流を深め、協力して活気に満ちたふるさとづくりをめざします。

2. 私たちが大切に思い、守り、育てたい景観

この地域は、日本書紀に出てくる後方羊蹄ではないかとも言われる、いにしへのロマン香る所であり、それが羊蹄山の語源ともなっています。また、ニセコアンヌプリなどアイヌの人たちの生活に関わりのある多くの地名も残っています。鬱蒼とした一面の原生林であったこの地に開拓の手が入ったのは、明治も中頃になってからですが、わずか100年余りの間に美しい自然と豊かな田園景観あふれる、北海道を代表する観光地に発展してきました。私たちはこのような景観を守り育てていきたいと思えます。

① 羊蹄山と周囲の山並の景観

私たちは、ひときわ高くそびえ立つ羊蹄山、日本海に向かってたおやかに連なるニセコ連峰、さらに昆布岳、尻別岳といった豊かな山並に囲まれて暮らしています。山々が春夏秋冬に創り出す景観は美しく、また、山の麓から湧き出る水を求めて多くの人が訪れています。

② 清流尻別川の景観

何度も清流日本一になっている尻別川は、そのきれいな水に、絶滅危惧種となっているイトウをはじめ、ヤマメ、アユなどが生息し、多くの釣り人が訪れています。また、春から秋まで、ラフティングやカヌーなどを楽しむ人々の歓声が響いています。豊かな河畔林に包まれ、穏やかに蛇行しながら流れる川の中には、別世界のような緑と水の景観が展開しています。

③ 山並と樹林を背景にした田園景観

農業を中心に発展してきたこの地域の丘陵地では、ジャガイモをはじめ、甜菜、小麦、ユリ、蕎麦などの畑がモザイク状に広がり、所々にある牧草地では牛がのんびり草をはみ、尻別川沿いには水田も見られるなど、多種多様で豊かな農業が展開されています。これらの田園景観が、羊蹄山の頂きと山裾に広がる樹林を背景に四季折々に表情を変える様子は、他では見ることのできない魅力的なものです。

④ 自然や気候・風土と調和した市街地景観

市街地では、いたるところで花が植えられ、どこからでも羊蹄山をはじめとした美しい山並を望むことができ、また、近くを尻別川などの清流が流れるなど、身近なところで豊かな自然と接することができます。また、豪雪と向き合った暮らしの中で、通りや建物にも地域らしさが見られるなど、自然や気候・風土に調和した街並となっています。

3. 羊蹄山麓広域景観づくりにあたっての基本的な考え方

景観づくりを進めるにあたって、私たちは次のような考え方を大切にしたいと思います。

① 7町村の協働による広域的な景観づくり

景観は行政界を越えて広がっており、一つの阻害要因が地域全体の景観イメージの低下につながっていきます。そのようなことから、私たちは、「景観を共有する共同体」として協働で美しい景観づくりに取り組みます。

② 私たちの生業や暮らしそのものが景観づくり

羊蹄山麓の広域景観は、農業をはじめ、林業、観光産業など、この地域で行なわれている全ての産業と私たちが暮らしている生活環境によって形づくられています。このようなことから、私たちの生業や暮らしそのものが景観づくりと認識し、地域経済の発展や豊かな暮らしとのバランスの取れた景観づくりに取り組みます。

③ 地域らしさを大切に作る景観づくり

景観は地域の自然・生態系や歴史・文化が色濃く反映されます。豊かな自然とそこに生きる多様な動植物の生態系を保全し、地域の歴史を語り継ぐアイヌ語地名やサイロ、石造り倉庫などを地域の文化として大切に作る景観づくりに取り組みます。

④ 地域全体での息の長い景観づくり

景観づくりは、子供からお年寄りまで地域全体で、世代を超えて息長く取り組むことが大事です。このため、住民・民間・行政が適切な役割分担と連携を図るとともに、羊蹄山麓地域らしい景観を守り育てることについて、積極的な普及啓発を図ります。特に地域の将来を担う子供たちの理解が深まるように努めます。

⑤ 段階的・継続的な景観づくり

「シンボル羊蹄山の眺望」や「尻別川の清流」を守る取り組みなどの目標を共有し、できることから始めて、段階的、継続的に積み上げて着実に成果をあげる方式で取り組みます。

4. 羊蹄山麓広域景観づくりの基本方針

魅力あふれる美しいまちや村をつくるため、私たちは次のような景観づくりをめざします。

また、地域のシンボルである羊蹄山の眺望を大切にしたい景観づくり、建物などの規模・高さ・素材・形態・色彩などの基準づくり、広域景観づくりの普及啓発などについては、全体に共通する課題として取り組みを進めます。

①山並景観

- ・羊蹄山・ニセコ連峰・昆布岳・尻別岳と周囲の山並のスカイラインを損なうことのないように努めるとともに、森林の開発についても周囲の景観との連続性に配慮し、美しい森林景観の保全に努めます。
- ・林業経営の安定をめざしながら良好な森林の育成を進めるとともに、美しい森林景観と豊かな山並をより楽しむことができるよう、散策・ハイキングコースの整備を進めます。

②水辺景観

- ・水質の向上、河畔林の保全、回遊路の確保といった魚類の生息環境改善などにより、尻別川とその支流が持つ固有の生態系の保全・回復とともに、緑豊かな水辺景観づくりを進めます。
- ・釣り、ラフティング、カヌーなど多くの河川利用者が、共に良好な水辺景観を楽しむことができるよう、ゴミを捨てない、水を汚さないなどのマナーの普及を図るとともに、尻別川利用についてのルールづくりを進めます。

③田園景観

- ・羊蹄山麓の素晴らしい景観と清らかな環境の中で生産される安全・安心な農作物としてブランド力の向上を図り、農業経営の安定をめざしながら、自然と調和した田園景観の維持・向上に努めます。
- ・羊蹄山麓ならではの景観作物^{※1}の導入や農家における花壇の普及など、新たな田園景観の創出を図るとともに、荒廃した休耕地、廃屋の適切な管理に努めます。

④沿道景観

- ・多くの景観が沿道の景観として意識されることから、ゴミ、のび放題の雑草、さまざまな道路工作物、廃車、廃屋などが、景観阻害要素にならないように努めるとともに、ビューポイント、食事・休憩施設、案内標識など景観を楽しむための施設整備にも努めます。

⑤市街地景観

- ・恵まれた自然景観にふさわしい市街地となるよう、通りを花で飾ったり、ゴミを拾うなど、身近な暮らしの中で取り組みを進めます。また、通りや建物についても、豪雪の地ならではの工夫に一層取り組み、自然や気候・風土に合った街並づくりを進めます。

⑥観光地景観

- ・ニセコエリア、ルスツエリアといったスキー場・レジャー施設・別荘地・宿泊施設などが集積する場所では、土地の利用方法や施設づくり、屋外広告物などが、周囲の自然景観、田園景観と調和するように努めます。

羊蹄山麓広域景観づくりの推進に向けて

指針でめざす景観づくりを進めるため、私たちは行動計画(アクションプラン)を定め、役割分担をしながら取り組みます。

(1)推進のための行動計画(アクションプラン)の策定

- ・「羊蹄山麓広域景観づくり基本方針」の具体的推進のために、行動計画を策定し、広域景観づくりの取り組みを進めます。
- ・行動計画は、年度ごとに取り組みの成果を評価・確認し、見直しを行いながら進めます。

(2)推進のための体制

- ・広域景観づくりは、7町村で組織される羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会(以下「協議会」という。)を中心として、国、道の諸機関、民間事業者、民間活動団体、町内会、個人など幅広い参加を得て推進します。
- ・広域景観づくりの情報を交換し、行動計画の地域合意を図るため、協議会のもとに民間と行政による懇談会を設置します。
- ・行動計画については、協議会のもとに設置された幹事会が調整役を担いながら、進行管理に努めます。
- ・協議会は、広域景観づくりの活動に対する幅広い助言を受けるため、関係する専門家にアドバイザーを委嘱します。
- ・協議会は、シーニックバイウェイ北海道^{※2}などと連携し、広域景観づくりを推進します。

(3)推進のための役割分担

①行政の役割

◇町村の役割

- ・7町村は、羊蹄山麓地域を構成する自治体として協議会を組織し、道と共に行動計画の立案・実施の全体調整機能を担います。
- ・また、各町村における景観行政の主体として、景観条例の制定、意識啓発、各種行政施策・事業を住民との協働により進めます。

◇道の役割

- ・道は、広域的な調整役の立場から協議会に加わり、行動計画の立案・実施にあたって、7町村と共に全体調整機能の一翼を担います。
- ・行動計画についても、計画の立案、実施に積極的に関わるとともに、各種行政施策により、取り組みを進めます。

②地域住民の役割

- ・子供からお年寄りまで、一人一人が景観づくりの担い手であることを自覚し、日々の暮らしの中での、身近な景観づくりに取り組みます。
- ・地域でのさまざまな景観づくりの活動に積極的に参加、協力します。

③民間活動団体・町内会等の役割

- ・民間活動団体・町内会等によって、既にさまざまな景観づくりの活動が展開されており、今後についても、地域における景観づくりの牽引役としての役割を担います。
- ・行動計画の立案・実施に参加し、それぞれの関係する分野で活動を担います。

④事業者の役割

- ・建設業に携わる事業者は、より良い景観づくりのための技術力の向上など、地域の景観づくりに積極的に関わるように努めます。
- ・農業、林業及び水産業に携わる事業者は、生産の場が地域の景観を構成する重要な要素であることを認識し、日々の活動において、良好な景観づくり、保全に配慮します。
- ・商工関係の事業者は、商店、工場等が市街地の景観づくりに果たす役割の重要性を認識し、建物や屋外広告物などが周囲の景観と調和するように努めます。
- ・観光関係の事業者は、地域の景観が観光資源であることを認識し、土地の利用方法、施設などが周囲の景観と調和するように努めます。

おわりに

私たちは、この指針にもとづき地域一体となった景観づくりに取り組みます。指針は完成したのではなく、さまざまな取り組みの中で見直しを行い、より良いものにしていきます。常に進化・成長する指針をめざします。

※1 景観作物

レンゲ、ヒマワリ、菜の花、ハーブなど緑肥や雑草抑制、病害虫防除などに役立つとともに、農村の景観を豊かにする作物のこと。

※2 シーニックバイウェイ北海道

行政と地域が連携し、地域の景観、自然環境などの地域資源を保全・改善し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行うもの。

『羊蹄山麓広域景観づくり指針』は、 みんなで話し合い、みんなで作りました。

＜推進体制＞

羊蹄山麓広域景観づくりを
推進していく体制です。

◇羊蹄山麓広域景観づくり組織図



*1 民間が入ることも想定

*2 アクションプランの検討・推進のための組織

○広域景観の保全及び

形成の推進に努めていきます。

＜指針策定までのプロセス＞

H17/8/3

第1回推進協議会の開催

H17/8/24

第1回検討会(ワークショップ)の開催

H17/10/6-7

景観塾の開催
第2回検討会(ワークショップ)の開催

景観塾: ○講演
・佐藤 誠 熊本大学大学院 教授
・小林英嗣 北海道大学大学院 教授
○グループ討議
検討会: ○羊蹄山麓のバス見学会
○グループ討議



H17/11/11

第3回検討会(ワークショップ)の開催

○指針(案)の検討、アクションプランの検討をグループ討議

H17/12/9

第4回検討会(ワークショップ)の開催

○指針(案)の検討・確認、アクションプランの検討をグループ討議

H18/2/7

地元住民意見交換会の開催

○指針(案)の説明
○講演・小林英嗣 北海道大学大学院 教授
○パネルディスカッション



H18/3/17

北海道美しい景観のくにづくり審議会への諮問

H18/3/22-24

知事と7町村の首長による協議

H18/3/31

広域景観づくり推進地域の指定、広域景観づくり指針の策定

倶知安での暮らしのあり方と 将来の景観を考える



国立研究開発法人 土木研究所
 寒地土木研究所 地域景観チーム
 笠間 聡

地域景観チーム Scenic and Landscape Research Team

- ・寒地土木研究所に平成18年(2006年)に設置
- ・2019年4月に改称(地域景観ユニット→地域景観チーム)
- ・良好な景観形成による、社会資本の質の向上、利用価値の向上、またそれによるユーザーの満足度向上や地域支援を目的とした研究
- ・研究テーマは大きく2つ。

1. 土木景観に関する研究

道路景観や歩行空間の景観評価、景観向上策、景観の社会的効果、街路樹、...

2. 社会資本の観光活用に関する研究

道の駅の魅力向上、分かりやすい案内誘導と公共空間、国際的なロードツーリズム、...



国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所



- ・国立研究開発法人 土木研究所としては、つくば(中央研究所)と札幌(寒地)の2拠点
- ・寒地土木研究所(札幌)は、もとは北海道開発局付属の土木試験所。



- ・寒冷地における良好なインフラの維持整備等に必要となる土木技術の研究・開発
- ・技術指導等による研究成果の普及を通じ、良質な社会資本の効率的な整備および北海道開発の推進に資することを目的

寒地土木研究所 地域景観チームの研究

- ・研究成果は、地域や社会資本の整備に活用されることが前提
- ・地域の課題や、政策上の課題を反映した研究が主。



CERI 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

土木分野における木材活用

CERI 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

研究課題・研究ニーズの発掘

- ・上位計画、関連計画、過去の技術相談案件、現地調査、北海道総合開発計画 各種協議決定計画



研究テーマの立案、研究の実施

- ・事例調査、試験、被験者実験、統計解析、...



成果の取りまとめ

- ・マニュアル、ガイドライン、技術資料、...



普及

- ・講演会、講習会、セミナー、技術相談、...



CERI 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

成果の普及：マニュアル類

地域景観ユニットのウェブページからダウンロードできます。
<http://scenic.ceri.go.jp/manual.htm>

CERI 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

技術相談・依頼講演

寒地土木研究所 「ホームドクター宣言」

- 技術相談、技術指導
- 研修会、講習会、講演会への講師派遣

実績：研究所全体

技術相談 約1,000件/年
 講師派遣 約250件/年

実績：地域景観ユニット

技術相談 約150件/年
 講師派遣 約30件/年



CERI 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

技術相談・依頼講演

■ 依頼元

北海道開発局	30%
地方自治体（市町村、都道府県等）	30%
商工会・市民団体・企業CSR・NPO・財団	20%
企業・メーカー・コンサル・他研究機関等	20%

■ 相談内容

道の駅	30%
まちづくり・中心市街地	5%
景観	30%
その他	35%



国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 地域景観チーム
 研究員：笠間 聡



1. 景観への取組みについて考える前に...

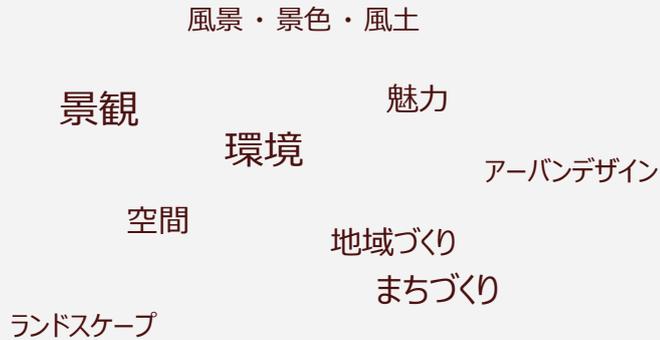
- ・ 景観とは？
- ・ 「暮らしのあり方と景観」とは？

「景観」ってよくわからない。
 景観って人によってとらえ方が違う、評価が違う、価値観が違う。
 ... の解決の1歩として。

景観とはなんだろうか？



景観とはなんだろうか？



「景観」とは？

... 人間を取りまく 環境 の眺め ~ 景観工学の創始者：中村良夫先生

↳ 多様な要素から成る

景観について考える場合、
 ある「要素」だけを
 独立して考えることはできない。



「景観」

... 人間を取りまく 環境 の眺め

↳ 「景観」を考えるということは、「環境」を考えるということ

自然環境、都市環境、市街地環境、生活環境、居住環境、
 子育て環境、経済環境、

景観を改善したい場合でも
 「景観」だけを
 独立して考えることはできない



「景観」

... 人間を取りまく 環境 の眺め

↳ 「景観」を考えるということは、「環境」を考えるということ

↳ 「景観」が良い = 「環境」も良い (前提条件)



「景観」

… 人間を取りまく 環境 の眺め

↳ 「景観」を考えるということは、「環境」を考えるということ

↳ 「景観」が良い = 「環境」も良い (前提条件)



CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

景観とはなんだろうか？



自然環境、都市環境、市街地環境、生活環境、居住環境、子育て環境、経済環境、

CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

「景観」を通して、「環境」を見る。



「景観」を通して、そのまちの「環境」を評価する。

居心地よさそう、気持ちよさそう、つまらなそう、危なそう、

「環境」は「景観」に現れる。

「景観」が良いところは、「環境」も良い。



CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

景観への取り組みの目的

誰のための/何のための景観？

景観法 (2004年)
第2条: 基本理念

- 良好な景観は…
- (1) 観光その他の地域間の交流の促進
観光客、来訪者、観光をはじめとした産業
 - (2) 潤いのある豊かな生活環境の創造
地域に暮らす自分たちの豊かな生活のため
 - (3) 美しく風格のある国土の形成
誰かの損得のためではなく…

…に資する。

CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

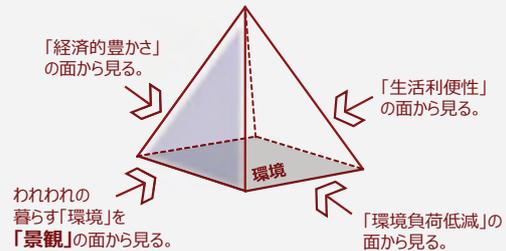
景観とは？

1 ... 「景観」は「環境」の眺め。

▷ 景観を考えるということは、環境を考えるということ。

CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

景観とはなんだろうか？



- 「景観」というのは、我々の暮らす環境を考える時のひとつの側面ではない。
- 「環境」は、さまざまな側面から評価することができる。
- だけど人は、「景観」を通して、その街、その地域を見る。

CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

景観とは？

1 ... 「景観」は「環境」の眺め。

▷ 景観を考えるということは、環境を考えるということ。

例：自然環境、都市環境、市街地環境、生活環境、居住環境、

2 ... 「景観」は「環境」の一側面ではない。

▷ 環境のことを考えるには、景観以外の側面から考えることもできる。

例：交通渋滞を軽減して市街地環境を改善する。野生動物の生息環境を保全する。プラスチックの使用を減らし自然環境を保全する。

▷ 景観のことを考えるのか、環境のことを考えるのか。混同しないこと。

3 ... われわれは「景観」を通して「環境」を眺める。

▷ 多くの情報は目から。9割とも言われる。

▷ 景観が良い = 環境も良いことの証。

CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>



小樽 主に、(1) 観光その他の地域間の交流の促進...のため。

13 CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>



東川グリーンビレッジ(東川町)

主に、(2) 潤いのある豊かな生活環境の創造
...のため。 **▶ 自分たちの暮らしのため**



東京駅

主に、(3) 美しく風格のある国土の形成
...のため。 **▶ この風景・環境を後世に引き継ぐため**

景観への取り組みの目的

誰のための/何のための景観？

- (1) 観光その他の地域間の交流の促進
観光客、来訪者、観光をはじめとした産業
- (2) 潤いのある豊かな生活環境の創造
地域に暮らす自分たちの豊かな生活のため
- (3) 美しく風格のある国土の形成
誰かの損得のためではなく...

👉 それぞれによって、取り組むべき課題は異なる。
混同すると、議論がかみあわなくなる。

景観とは？

- 1 ... 「景観」は「環境」の眺め。
▶ 景観を考えるということは、環境を考えるということ。
- 2 ... 「景観」は「環境」の一側面ではない。
▶ 環境のことを考えるには、景観以外の側面から考えることもできる。
▶ 景観のことを考えるのか、環境のことを考えるのか。混同しないこと。
- 3 ... われわれは「景観」を通して「環境」を眺める。
▶ 多くの情報は目から。9割とも言われる。
▶ 景観が良い ⇨ 環境も良い ことの証。
- 4 ... 「景観への取組み」の目的はいくつかの分類ができる。
▶ 観光などの産業、地域での豊かな生活環境、風格ある国土の形成。
▶ それぞれに達成すべき目標は異なる。

2. 倶知安町の景観の現状

：



「空き地」と
そこに残る樹木等で
景観が保たれている。



倶知安の自然地域における適切な密度

ペンションビレッジ地区：指定建ぺい率50%、容積率200%



3. 景観づくりに取り組む意義

・なぜ手間暇かけてまで、「景観を良くする」必要があるの？

1. 単純にお金になるから

良い「景観」は価値を生む。

= 「環境」

←→ 価値の上昇 / 価格の上昇
需要と供給のバランスによる値上がり。

a 当別町 スウェーデンヒルズ

- 坪3万円~7万円程度
- 建築条件あり、建築協定あり
- 容積率60%、建ぺい率40%

数倍

b 当別町 一般の住宅団地

- 坪5千円~1万円程度
- 建築条件なし
- 容積率200%、建ぺい率60%



CERN 専任土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

良い「景観」は価値を生む。

例：小樽運河沿いのホテル



- 小樽運河側の客室を指定すると、一人あたり1,000円アップ。

消費者：景観のために追加の支払いを許容している
事業者：景観を資源に単価アップ

プラン	料金
スタンダード	¥18,000
景観付	¥19,000
プレミアム	¥22,000

CERN 専任土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

大濠公園【福岡県福岡市】



大濠公園【福岡県福岡市】



2. 景観は連鎖する

良い「環境」は、良い投資を呼び込む。



CERN 専任土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

3. 小さな行為の積み重ねが景観を良くする/悪くするから

地道な努力 ←-> 気づいたときには手遅れ



CERN 専任土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

3. 小さな行為の積み重ねが景観を良くする/悪くするから

地道な努力 ←-> 気づいたときには手遅れ



CERN 専任土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

3. 小さな行為の積み重ねが景観を良くする/悪くするから

地道な努力 ←-> 気づいたときには手遅れ



CERN 専任土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

3. 小さな行為の積み重ねが景観を良くする/悪くするから

地道な努力 ◀-> 気づいたときには手遅れ



CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

3. 小さな行為の積み重ねが景観を良くする/悪くするから

地道な努力 ◀-> 気づいたときには手遅れ



CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

景観法と景観計画

特に、

「景観計画」は、**守り/待ち**のツール。

～ 誰かが、何か行動を起こそうと思ったときに 従うべきルール。

～ 景観計画に沿った行動を誰かが起こして初めて、まちが変わる。

景観計画やその他のガイドラインだけでは、まちは変わらない。

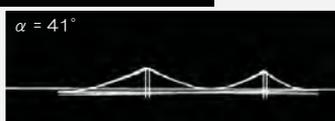
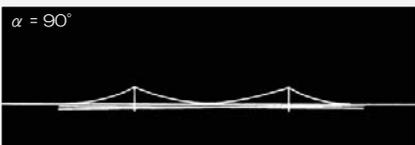
CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

4. 景観とは？ 地域の魅力とは？

- ・「景観」とはどのように認識されるのか...
- ・「景観」「風景」「景色」

「景観」とは？

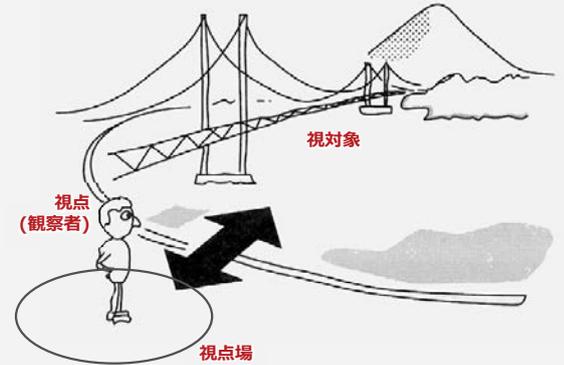
～ 当初の景観工学



狭義(狭い意味)での「景観」

「景観」とは？

～ 当初の景観工学



CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

「景観」のとらえ方

「視覚的景観」と「心像的景観」

↓
≡ 平面写真
≡ ある場所、ある時点での
ピンポイントの風景

↓
イメージ、印象。
視覚的景観の記憶的集合。
～ 組合せ、取捨選択、編集、...



CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

CERN 専攻土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

「景観」・「環境」・「イメージ」

「環境」が「景観」をつくり、
個々の「景観」の集合が地域の「イメージ」をつくる。

地域の魅力は「イメージ」で判断される。

個々の「景観」(=写真風景)でも、
景観を構成する個々の「要素」でもない。

戦略的で総合的な取り組みが必要。

(1) 「地域のイメージ」はどのように形成されるのか？

- ・「地域のイメージ」は、地域の魅力を考える上で非常に重要。
- ・「地域のイメージ」は、どのように人の心に記憶(形成)されるのか？



PHOTO: 663highland / Wikipedia (CC BY 2.5)

(1) 「地域のイメージ」はどのように形成されるのか？

- ・「地域のイメージ」は、地域の魅力を考える上で非常に重要。
- ・「地域のイメージ」は、どのように人の心に記憶(形成)されるのか？



例：函館の「地域イメージ」の構成要素の一例

(2) 「都市のイメージ」：5つのエレメント

例：
イメージマップ
函館西部地区



まちの“景観”的魅力を効果的に高めるために

- ・視覚的景観と心像的景観
- ・都市のイメージ
- ・地域の魅力を分析する

(1) 「地域のイメージ」はどのように形成されるのか？

- ・「地域のイメージ」は、地域の魅力を考える上で非常に重要。
- ・「地域のイメージ」は、どのように人の心に記憶(形成)されるのか？



PHOTO: 663highland / Wikipedia (CC BY 2.5)

(2) 「都市のイメージ」：5つのエレメント

by ケヴィン・リンチ (1960)

- ・ディストリクト
- ・バス
- ・エッジ
- ・ノード
- ・ランドマーク



(2) 「都市のイメージ」：5つのエレメント

ディストリクト
District (地区・区域) … 面



函館：ベイエリア



美瑛町の丘陵

(2) 「都市のイメージ」：5つのエレメント

ランドマーク

Landmark (目印) … 点



PHOTO: 663highland / Wikipedia (CC)表示2.5
函館：旧函館区公会堂



美瑛町：ケンとメリーの木

(2) 「都市のイメージ」：5つのエレメント

パス

Path (みち・路) … 線



函館：八幡坂



美瑛町：パノラマロード

(2) 「都市のイメージ」：5つのエレメント

エッジ

Edge (縁・境界) … 線



函館：海岸線

美瑛町：十勝岳連峰



(2) 「都市のイメージ」：5つのエレメント

ノード

Node (結節点・接合点) … 点



函館：函館駅



道の駅 ニセココンピュータプラザ

(2) 「都市のイメージ」：5つのエレメント

ノード

Node (結節点・接合点) … 点



函館：函館山展望台

(3) 5つのエレメントと地域のイメージ



(3) 5つのエレメントと地域のイメージ

「都市のイメージ」人の記憶にどのように残るのか？ -> 人にどのように訴えかけるのか？



景観計画 フェーズ2 に向けて

景観法15年、景観計画14年

これまでの運用実績等を踏まえ、景観計画の改定に取組む自治体も…

- ・景観計画による行為の制限：行為着手の30日前までに届出
建築であれば着工30日前。事業者に変更や修正を求めるには期間が全く足りない。
 >> 「事前協議制度」を設ける自治体が増加中。
 横浜市、神戸市、東京都、札幌市、…
 ただし、協議自体の実効性についても疑義は残る状況。
 景観法の枠外（景観法の規定にない制度）が罰則規定の不備等。
- ・行為の制限(景観コントロール)の“独断”が十分でないケース。
 - ・景観基準に適合でも、景観を損ねるような計画
 - ・建物高さや色彩など数値で定量的に定められる基準は、基準を厳しくしがたく、一方で、デザインや意匠など定量的に定められない基準は実効性に乏しい。
- ・景観を損ねる、空き地、駐車場
 景観計画・景観地区・地区計画(建築基準法)・緑化地域(都市緑地法)…
 いずれも建築行為等に際してのルール。青空駐車場には適用されない。

景観計画 フェーズ2 に向けて

いかに景観的に魅力的な街並みを実現していくか...

- ・ きびしめのルール + ただし書き認可？

魅力的な景観/街並みを実現する方法は多数ある。

その一例を示したのが「景観計画」。

それ以外の方法で魅力的な景観を実現する方法を提案できるのであれば、個別に審査する。という考え方

例：

黒松内町景観計画

屋根の色彩：4択に制限

- ・ 5GY 3/1
- ・ 5R 3/1
- ・ 5RP 2/1
- ・ N3



Photo by Google

景観計画 フェーズ2 に向けて

いかに景観的に魅力的な街並みを実現していくか...



Photo by Google

例：

国立公園の多くでは、原則こげ茶のルール

磐梯朝日国立公園 磐梯吾妻・猪苗地域 管理計画書 H16.2

- ・ 広告物等の掲出、設置及び表示
- 色彩は、原則として焦げ茶系とし、文字は白色又は黒色とすること。

5. 景観づくりと景観計画

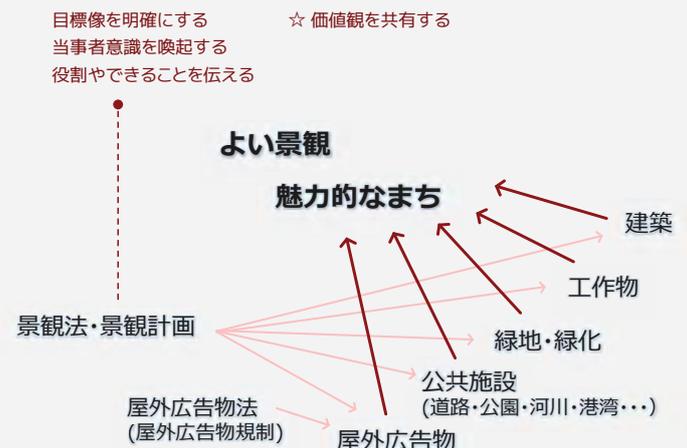
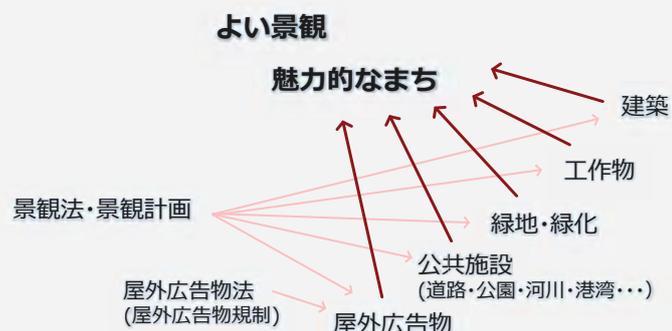
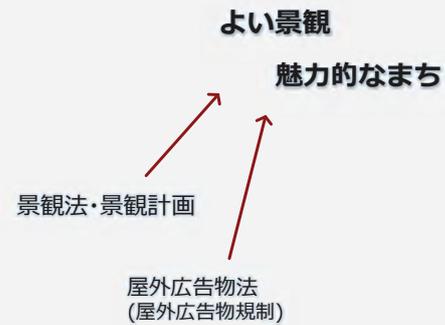
- ・ まちの景観的魅力をいかに高めるか
- ・ 景観計画の果たすべき役割

景観法と景観計画

景観法 (平成16年6月18日法律第110号)

- ・ 目的 / 基本理念 / 責務
 - ・ 定義「景観行政団体」
 - ・ 景観計画
 - 景観重要建造物 / 樹木
 - 景観重要公共施設
 - 景観農業振興地域整備計画
 - 景観地区 / 準景観地区
 - 景観協定
 - 景観整備機構
 - 景観計画 (景観法に基づく景観計画)
 - ・ 第一号は近江八幡市(H17.9)
 - ・ * 独自景観条例 & 景観計画からの移行
 - ・ 1から作った景観計画としては大分市(H19.7) という噂
- > 景観に関する地域独自のルール
> みなで守るように努める
> ひどい場合には罰則
- ・ 全国 1741市区町村のうち 558 市区町村が景観計画策定済み (H31.3時点、約1/3)
 - ・ ただし、北海道内は 17市町村/179

景観法と景観計画



土木学会：
景観政策に関する提言
 ～戦略的地域づくり推進のために～
 2009年4月

- ・ 景観政策の3つの側面
- ・ まもる、なくす、つくる
- ・ 課題は、“つくる”景観政策
- ・ “つくる”を高いレベルで実現するためには既存制度の改革が必要
 → 技術力とデザイン力の評価による計画・設計者の選定

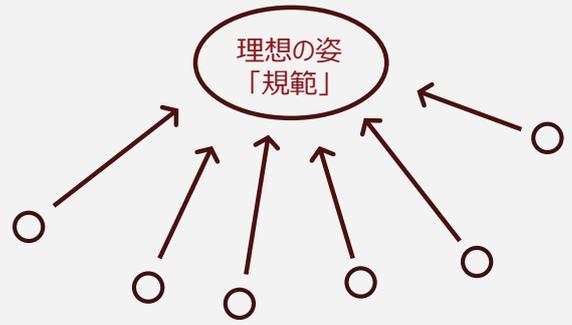
まもる、なくす、つくる
 ～それぞれの方法論はそれぞれに違う。
 混同しないことが必要。

他のバリエーション
 ・ つくる、まもる、いかに

景観政策の3つの側面



「まもる」

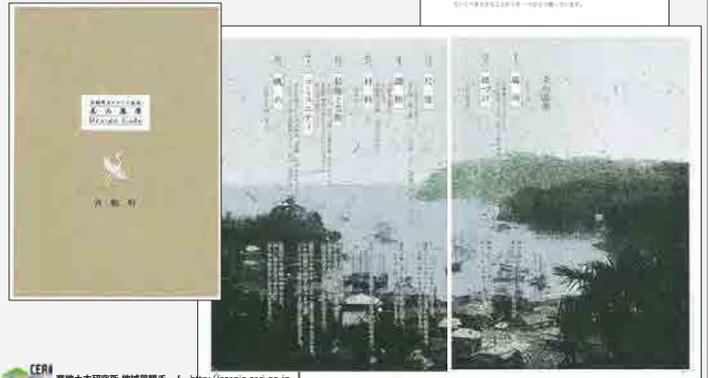


「つくる」



景観法と景観計画

真鶴町：
 真鶴町まちづくり条例 美的基準 デザインコード
 1992



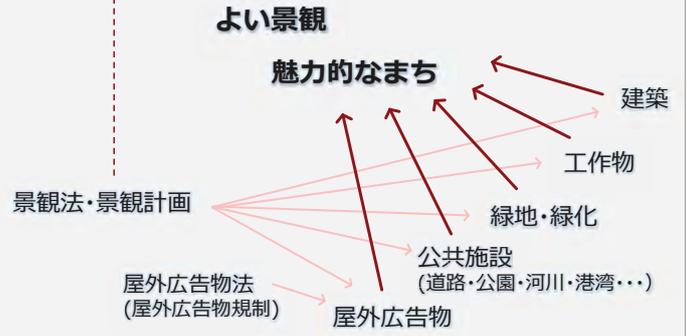
景観法と景観計画

真鶴町：
 真鶴町まちづくり条例 美的基準 デザインコード
 1992

目次

1. 編 序	1. 編 序	1. 編 序	1. 編 序
2. 編 序	2. 編 序	2. 編 序	2. 編 序
3. 編 序	3. 編 序	3. 編 序	3. 編 序
4. 編 序	4. 編 序	4. 編 序	4. 編 序
5. 編 序	5. 編 序	5. 編 序	5. 編 序
6. 編 序	6. 編 序	6. 編 序	6. 編 序
7. 編 序	7. 編 序	7. 編 序	7. 編 序
8. 編 序	8. 編 序	8. 編 序	8. 編 序
9. 編 序	9. 編 序	9. 編 序	9. 編 序
10. 編 序	10. 編 序	10. 編 序	10. 編 序
11. 編 序	11. 編 序	11. 編 序	11. 編 序
12. 編 序	12. 編 序	12. 編 序	12. 編 序
13. 編 序	13. 編 序	13. 編 序	13. 編 序
14. 編 序	14. 編 序	14. 編 序	14. 編 序
15. 編 序	15. 編 序	15. 編 序	15. 編 序
16. 編 序	16. 編 序	16. 編 序	16. 編 序
17. 編 序	17. 編 序	17. 編 序	17. 編 序
18. 編 序	18. 編 序	18. 編 序	18. 編 序
19. 編 序	19. 編 序	19. 編 序	19. 編 序
20. 編 序	20. 編 序	20. 編 序	20. 編 序

- ☆ 目標像を明確にする
- ☆ 当事者意識を喚起する
- ☆ 役割やできることを伝える
- ☆ 価値観を共有する



6. 居心地の良い環境づくり

- ・ 「景観」から、「空間のあり方」へ
- ・ 「空間のデザイン」、「場」のデザイン、プレイスメイキング(Place Making)

“居心地の良い空間づくり”



“居心地の良い空間づくり”



CERN 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

“居心地の良い空間づくり”



CERN 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

山形県・あつみ温泉・地域活性化施設

“居心地の良い空間づくり”



CERN 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

山形県・あつみ温泉

“居心地の良い空間づくり”



CERN 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

道の駅・景観的/空間的魅力

“居心地の良い空間づくり”



CERN 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

道の駅・景観的/空間的魅力

景観づくり・景観計画にとられない
「空間づくり」



これも重要。
まちを実際に、積極的に変えていく。

CERN 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

おわり

今後とも寒地土木研究所 地域景観チームをよろしくお願いいたします。

地域景観チーム 研究員 笠間聡
kasama@ceri.go.jp
<http://scenic.ceri.go.jp>

CERN 寒地土木研究所 地域景観チーム <http://scenic.ceri.go.jp>

倶知安町景観アンケート

結果速報

- 目的：町民の、景観に関する意識や町における景観の状況等を把握し、景観計画の策定に活用すること。
- 実施期間：令和2年6月12日～6月30日まで。
- 配布数・回収数・回収率（市民）：

配布数	18歳以上の倶知安町民の中から無作為に抽出した2,000名
6月30日時点 回収数	449名 (7月7日時点回収数 675名)
6月30日時点 回収率	22.4% (7月7日時点回収率 33.7%)

1

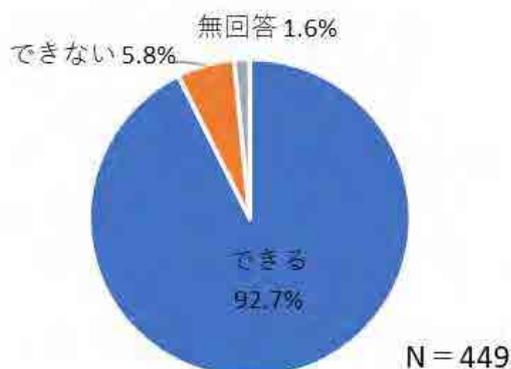
倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■ 居住地周辺について(1)

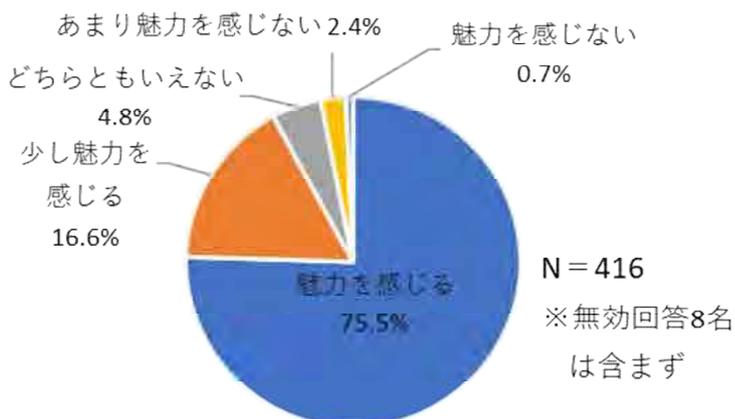
- ・居住地周辺から自然の風景を望める人は90%以上おり、そのうち、その景色に「魅力を感じる」「少し魅力を感じる」と答えた人は合わせておよそ90%となった。

【自然の風景を望めるか】



【その景色に魅力を感じるか】

※居住地周辺から自然の風景を望めると回答した416名が回答



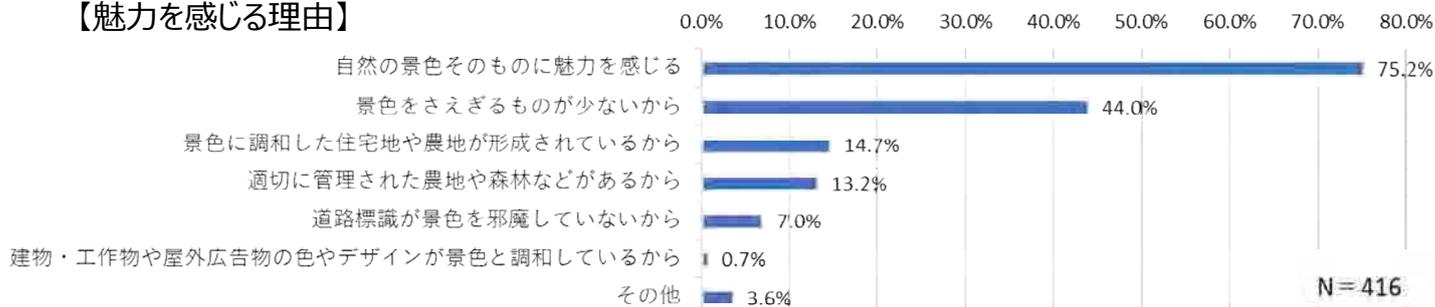
2

倶知安町景観アンケート

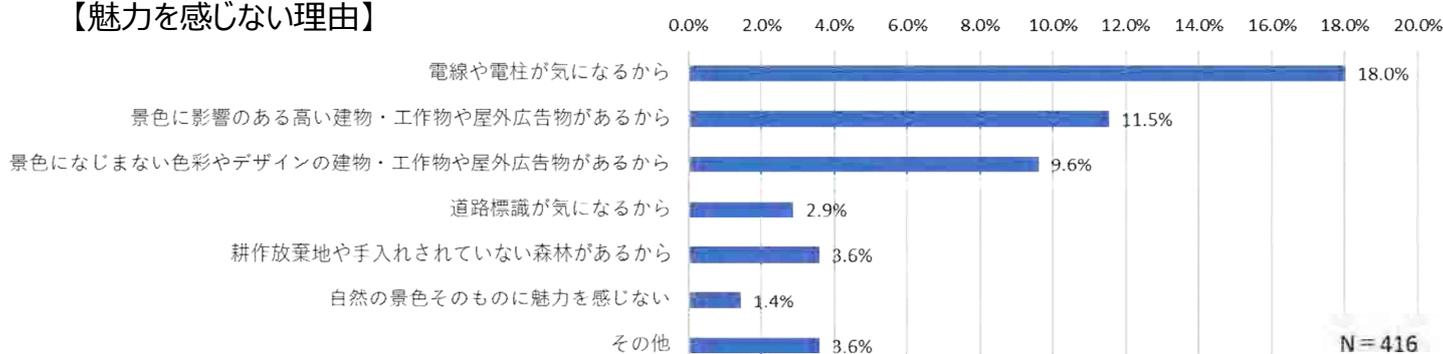
結果速報（倶知安町の現状）

- 居住地周辺について(1) ※前頁で自然の風景を望めると答えた416名のみ回答 ※複数回答
- ・魅力を感じる理由は、「自然の景色そのものに魅力を感じる」が最も多く、魅力を感じない理由は、「電線や電柱が気になるから」が最も多い結果となった。

【魅力を感じる理由】



【魅力を感じない理由】



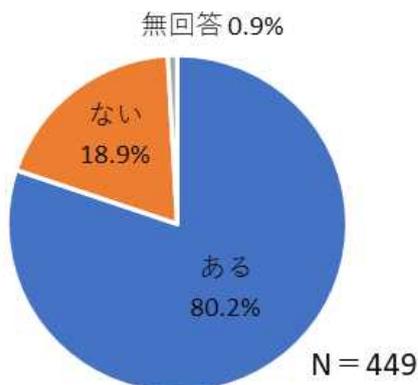
3

倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

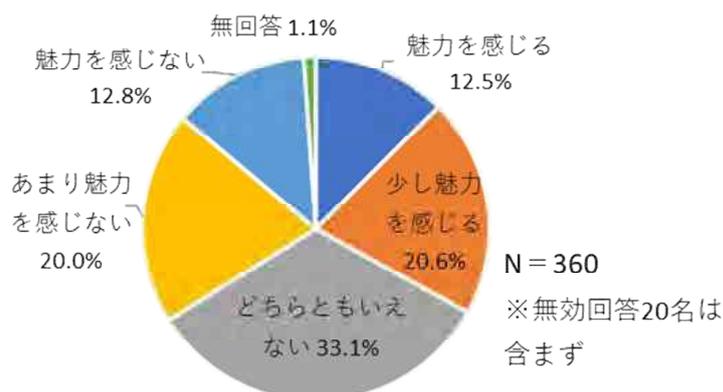
- 居住地周辺について(2)
- ・居住地周辺に住宅地または商店街がある人はおよそ80%で、そのうち、「その街並みに魅力を感じる」と答えた人、「どちらともいえない」と答えた人、「魅力を感じない」と答えた人がおよそ同じ割合になった。

【居住地周辺に住宅地または商店街があるか】



【その街並みに魅力を感じるか】

※左記「ある」と答えた360名のみ回答



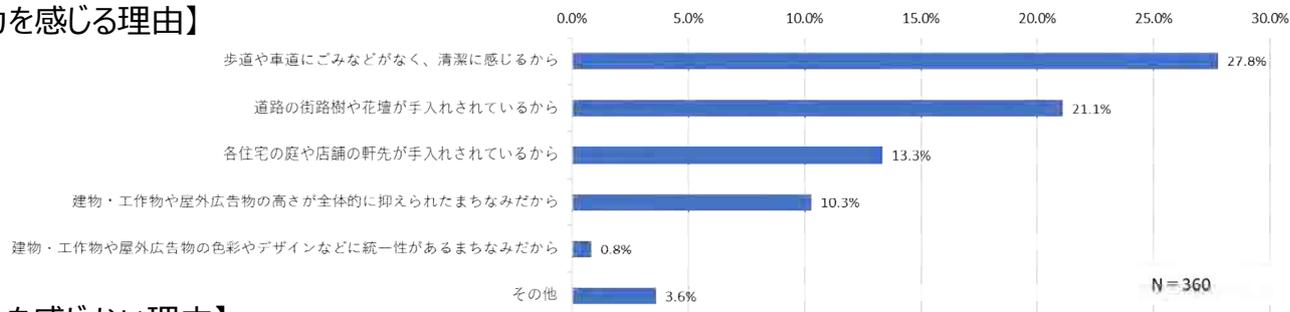
倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

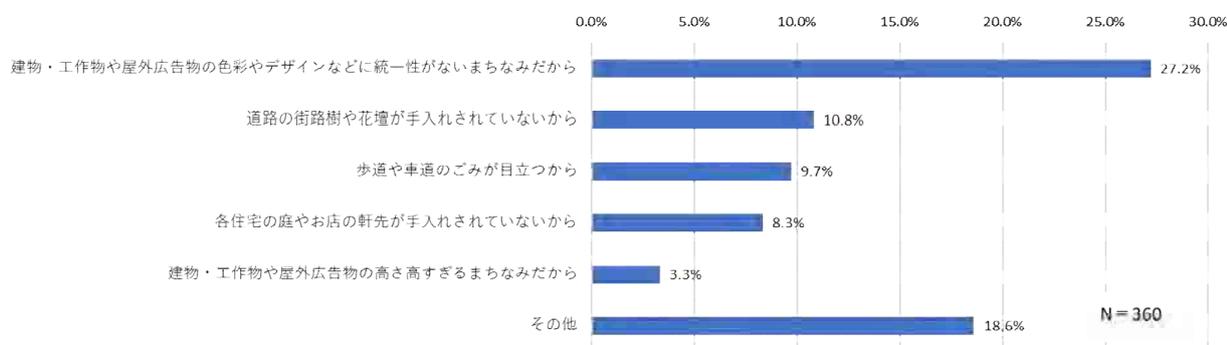
■ 居住地周辺について(2) ※前頁「ある」と答えた360名のみ回答 ※複数回答

- ・魅力を感じる理由は、「歩道や車道にごみなどがなく、清潔に感じるから」が最も多く、魅力を感じない理由は「建物・工作物や屋外広告物の色彩やデザインなどに統一性がないまちなみだから」と回答した人が最も多かった。

【魅力を感じる理由】



【魅力を感じない理由】



倶知安町景観アンケート

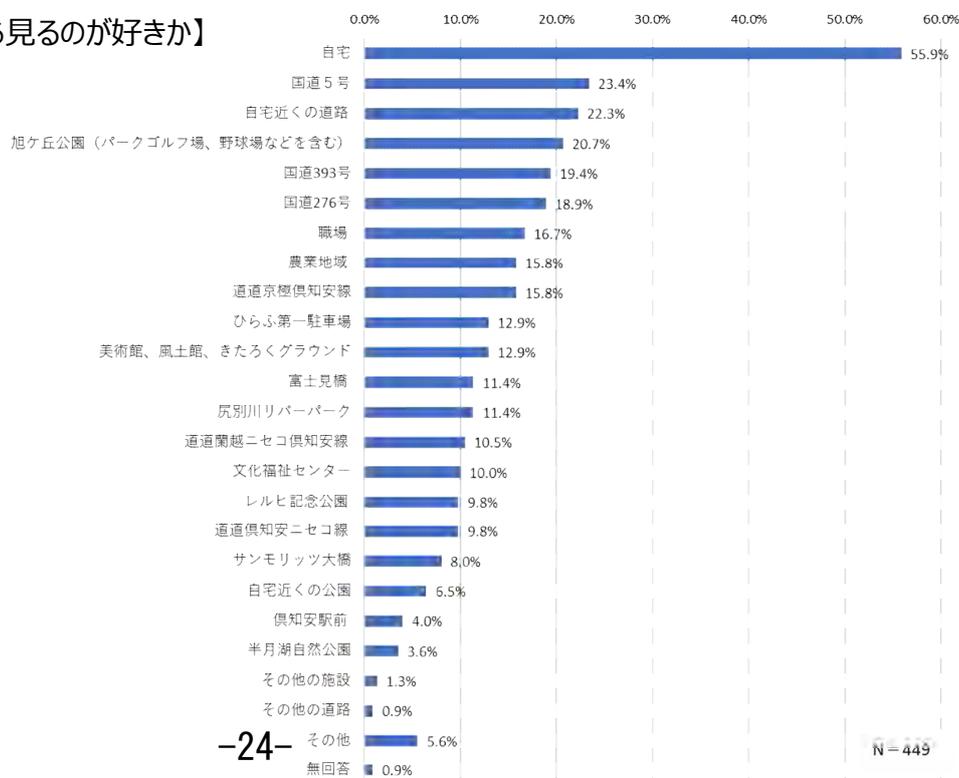
結果速報（倶知安町の現状）

■ 倶知安町の特徴ある景色について（1）

- ・羊蹄山やニセコ連峰を見る場所として最も好まれるのは「自宅」で、次いで「国道5号」「自宅近くの道路」が多かった。

【羊蹄山やニセコ連峰をどこから見るのが好きか】

※複数回答



倶知安町景観アンケート

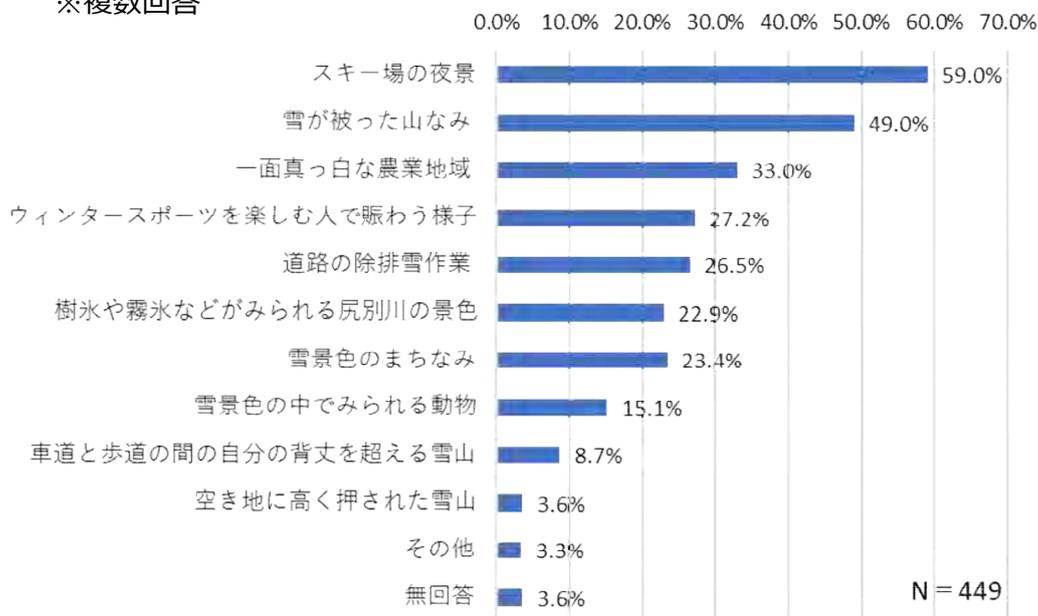
結果速報（倶知安町の現状）

■ 倶知安町の特徴ある景色について（2）

- ・倶知安で良いと思う冬の景色は、「スキー場の夜景」が最も多く、次いで「雪がかぶった山なみ」であった。最も少なかったのは、「空き地に高く押し出された雪山」となった。

【倶知安町で良いと思う冬の景色】

※複数回答



7

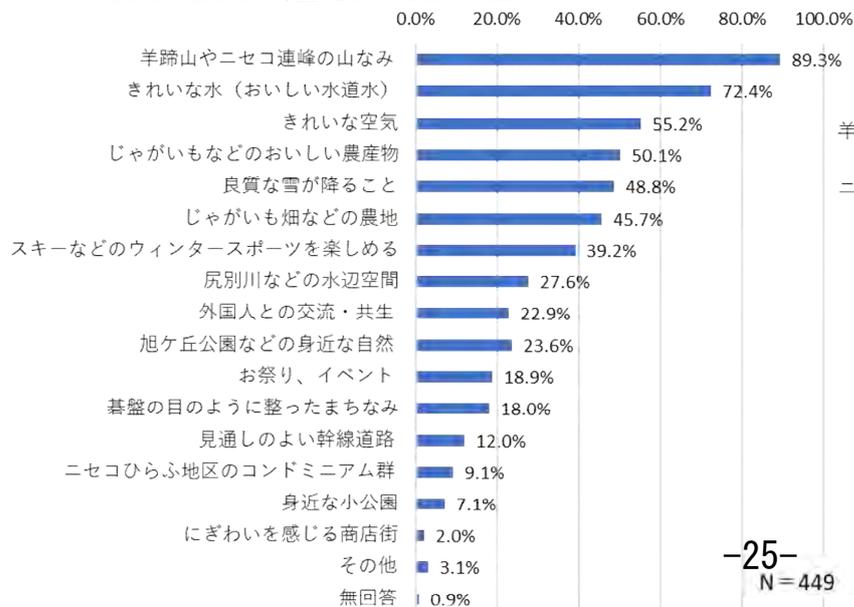
倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

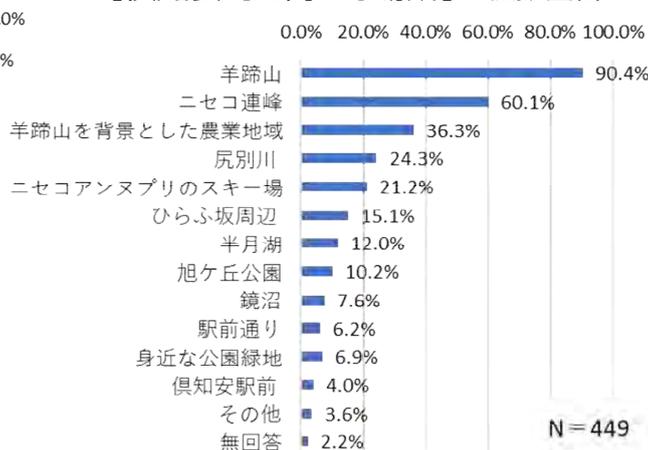
■ 倶知安町全体について（良い点）

- ・倶知安町の魅力は、「羊蹄山やニセコ連峰の山なみ」が最も多く、次いで「きれいな水」「きれいな空気」であった。最も少ないのは、「賑わいを感じる商店街」であった。
- ・倶知安町の誇れる場所は、「羊蹄山」が最も多く、次に多い「ニセコ連峰」と合わせて、全体のおよそ半分を占めた。最も少なかったのは、「倶知安駅前」であった。

【倶知安町の魅力】※複数回答



【倶知安町の誇れる場所】※複数回答



8

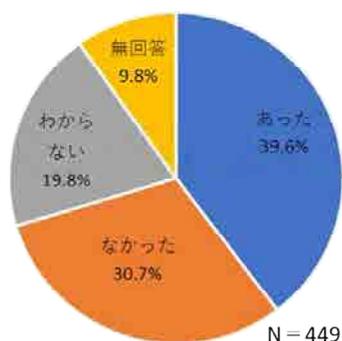
倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■ 倶知安町全体について（悪い点）

- ・倶知安町の景観に対して、違和感や不満を感じる人が40%近くおり、なかった人の約30%を上回った。
- ・違和感や不満を感じるものでもっとも多かったのは「高さや色彩、デザインなどが周囲と調和していない建築物や工作物」であった。また、こういった場面で感じたかも聞いており、「高さや色彩、デザインなどが周囲と調和していない建築物や工作物」においては「ニセコ、ひらふ地区などリゾートエリアに行ったとき」に感じた人が最も多い結果となった。

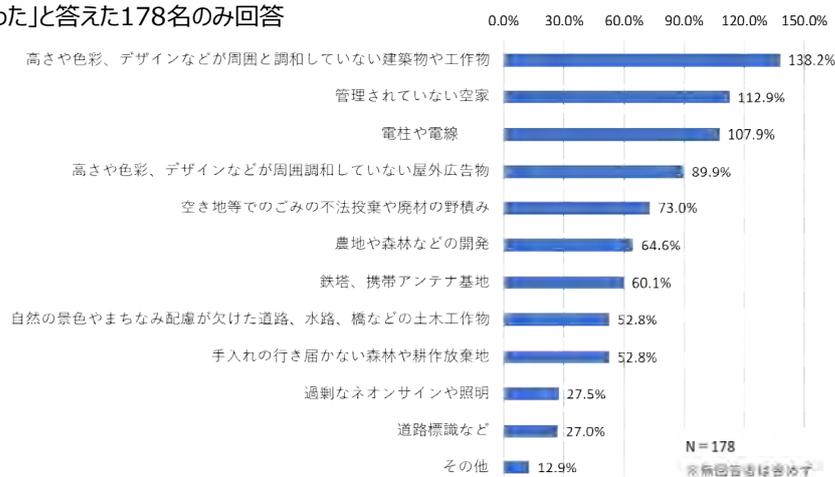
【倶知安町の景観で違和感や不満を感じる人があったか】



【違和感や不満を感じる場面ともの】

※左記で「あった」と答えた178名のみ回答

※複数回答



9

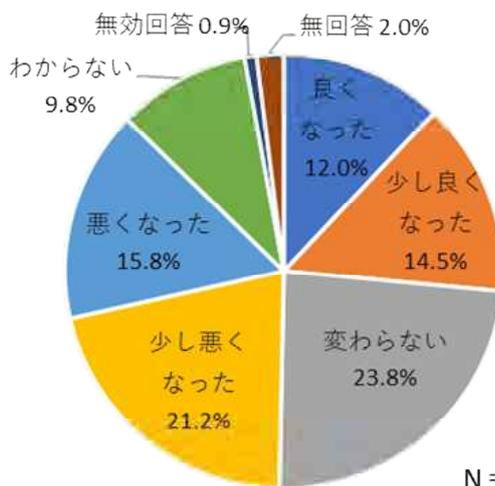
倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■ 倶知安町全体について（以前からの変化）

- ・倶知安町に住み始めてからの景観の変化に関しては、「悪くなった」と「少し悪くなった」が合わせておよそ40%となり、「良くなった」「少し良くなった」を合わせたおよそ30%を上回った。

【倶知安町に住み始めてから景観はどのように変化したか】



倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の将来）

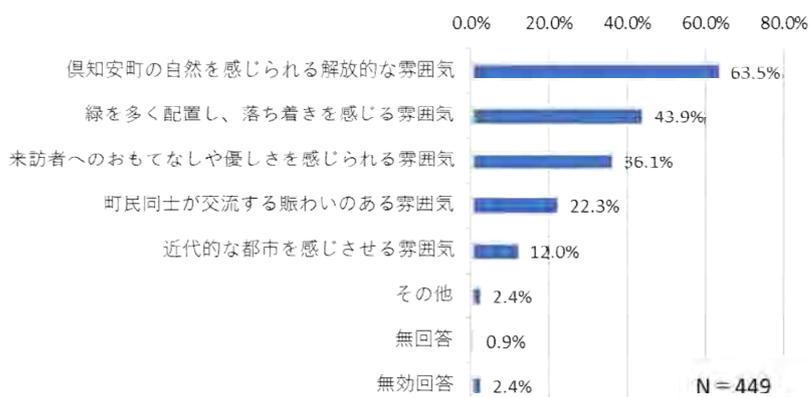
■ 倶知安駅、ニセコひらふ地区について

（1）駅周辺の今後のイメージ

- ・倶知安町の今後に望むイメージは、「倶知安町の自然を感じられる開放的な雰囲気」が最も多く、「近代的な都市を感じさせる雰囲気」が最も少なかった。
- ・新幹線駅の駅舎の外観に対して望むイメージは、「羊蹄山」が最も多く、「尻別川」が最も少なかった。

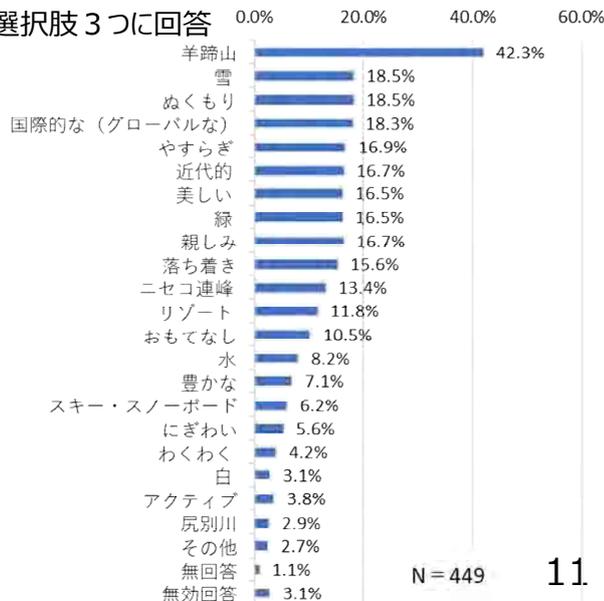
【どのような雰囲気になることを望むか】

※あてはまる選択肢2つに回答



【新幹線駅の駅舎の外観に対して望むイメージ】

※あてはまる選択肢3つに回答



倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の将来）

■ 倶知安駅、ニセコひらふ地区について

（2）ニセコひらふ地区とその周辺の今後について

- ・街並みに望む雰囲気については、「自然と調和した落ち着いた雰囲気」が最も多い結果となった。
- ・今後の開発についての考えは、「自然環境に配慮した開発量にする必要はあるが、ある程度の開発は容認すべき」が最も多い結果となった。

【街並みについて望む雰囲気】

※複数回答



【今後の開発についての考え】

※複数回答



倶知安町景観アンケート

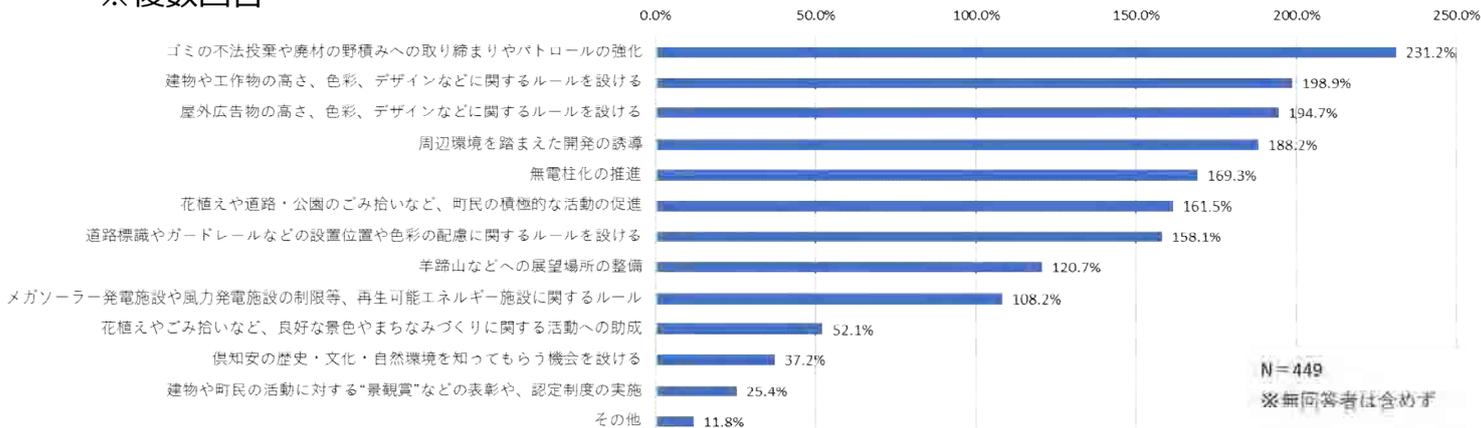
結果速報（倶知安町の将来）

■ まちの取り組みについて

- 必要だと思う取組は、「ゴミの不法投棄や素材の野積みへの取り締まりやパトロールの強化」が最も多くなった。また、そのなかでも取組が必要だと思うエリアも聞いており、「ゴミの不法投棄や素材の野積みへの取り締まりやパトロールの強化」においては、「リゾート地の中心（ニセコひらふ地区）」「リゾート地の周辺地域」が比較的多い結果となった。

【必要だと思う取組と、その取組が必要だと思うエリア】

※複数回答



倶知安町景観アンケート

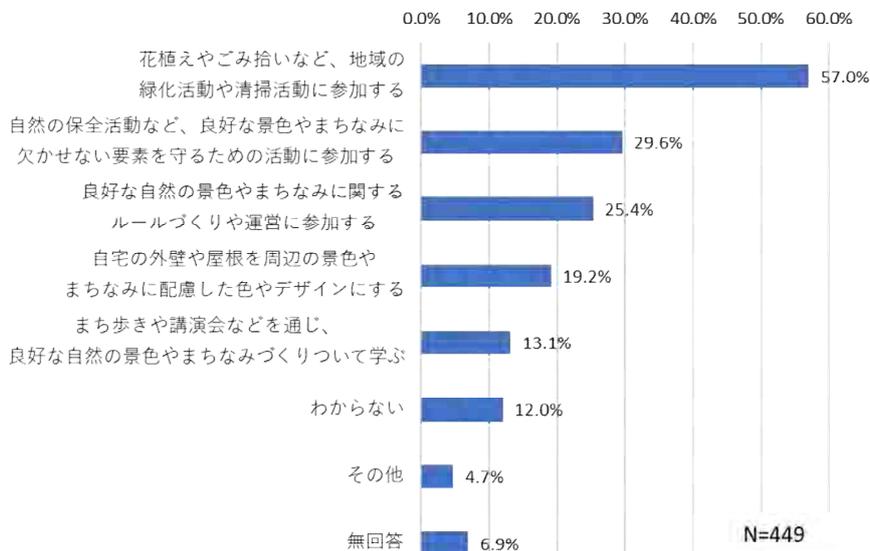
結果速報（倶知安町の将来）

■ 町民の取り組みについて

- 取り組むべきことは、「花植えやごみ拾いなど、地域の緑化活動や清掃活動に参加する」が最も多く、「まち歩きや講演会などを通じ、良好な自然の景色やまちなみづくりについて学ぶ」が、最も少なかった。

【取り組むべきこと】

※複数回答



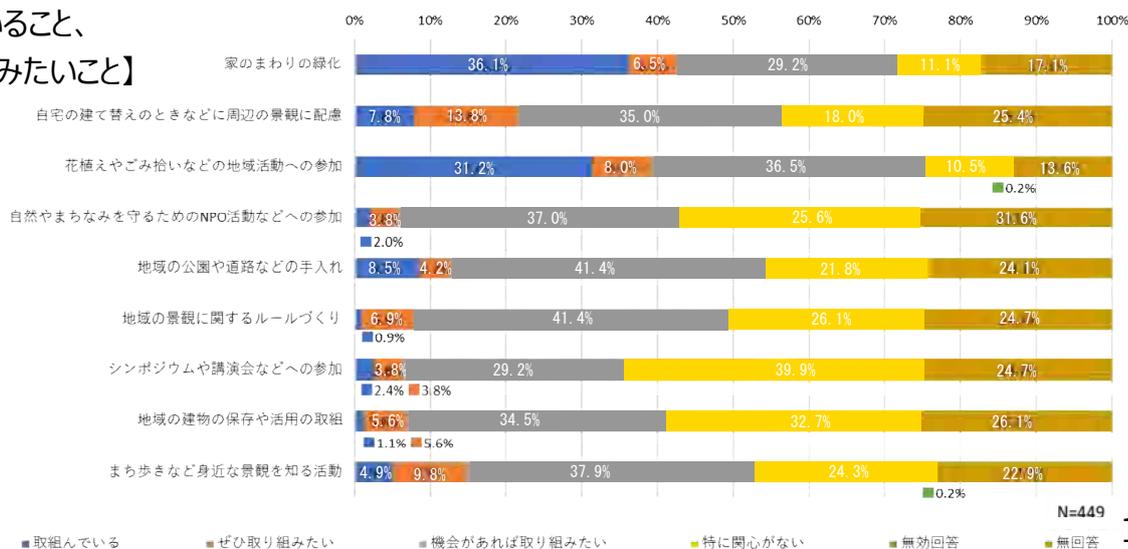
倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の将来）

■ご自身の取り組みについて

- ・既に取り組んでいることは、「家周りの緑化」、今後取り組みたいことは、「自宅の建て替えのときなどに周辺の景観に配慮」、機会があれば取り組みたいことは、「地域の公園や道路などの手入れ」と、「地域の景観に関するルール作り」が最も多かった。
- ・特に関心がない取り組みは、「シンポジウムや講演会などへの参加」が最も多く挙げられた。

【取り組んでいること、
今後取り組みたいこと】



15

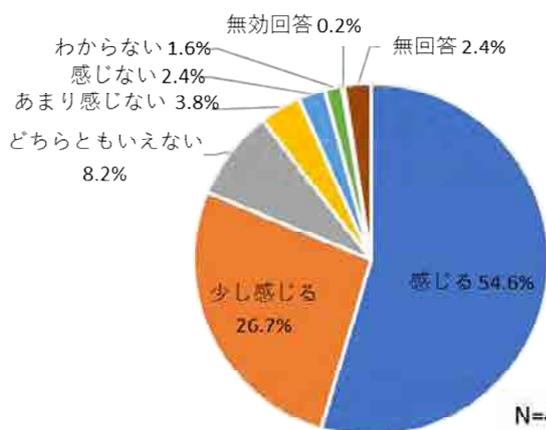
倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の景観）

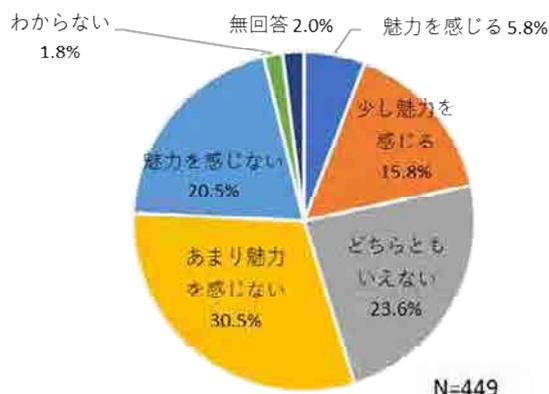
■倶知安町全体について

- ・倶知安町には「自然の景色」に魅力があると、「感じる」人と「少し感じる」人を合わせて80%を上回り、多くの人々が魅力を感じていることがわかる。
- ・倶知安町の「まちなみ」に関しては、「魅力を感じない」と「あまり魅力を感じない」が合わせて50%を超えており、「魅力を感じる」「少し魅力を感じる」を合わせた約20%を大きく上回った。

【倶知安町は「自然の景色」に魅力があると感じるか】



【倶知安町は「まちなみ」に魅力があると感じるか】



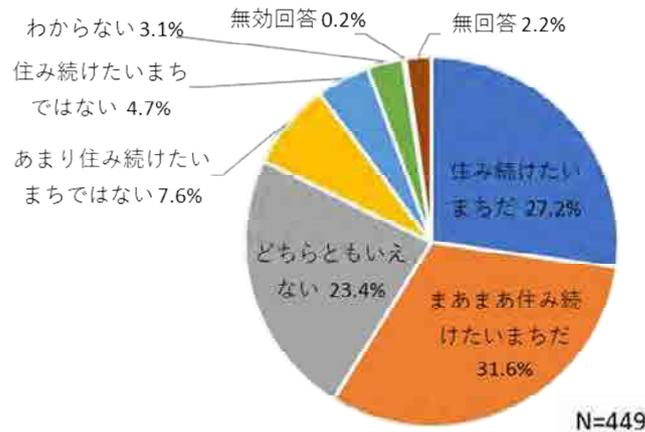
倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の景観）

■ 倶知安町全体について

- ・倶知安町に対して、「住み続けたいまちだ」「まあまあ住み続けたいまちだ」と答えた人は合わせて50%を超えており、「住み続けたいまちではない」「あまり住み続けたいまちではない」を合わせた約12%を大きく上回った。

【倶知安町はこれからも住み続けたい町か】



17

倶知安町景観アンケート

結果速報（倶知安町の景観）

■ 倶知安町全体について（自由記述）

【その他景観についての意見（自由記述） 一部要約抜粋】

- ・四季を感じられる(羊蹄山、ニセコ連峰、農地等)町として、自然や景観を守ってほしいです。
- ・現在の景観を維持し、本来ある自然は開発ルールをつけるべき
- ・倶知安町は羊蹄山、ニセコ連峰の山々など魅力がたくさん。自然を大切に！
- ・10年以上前に主人の転勤で札幌に3年住む機会があり、改めて倶知安町の景色のすばらしさに気づかされました。倶知安町に住んでいる方は、生まれた時から当たり前素晴らしい山々があって、自分がどんなに素晴らしい所に住んでいるのかわかっていないのだと思います。自分も離れてみて、初めてその素晴らしさに気付きました。幸せです。
- ・今のこの開発だらけになる前に、規制をかけるべきだったのではと思います。中心部はアパートだらけ、ヒラフは高級なホテルなどが毎年立ち、緑はどんどん失われ、10年以上前の倶知安が好きで住み始めた私達は、毎年だんだんいやになっている状況です。今の状況に満足している人は、ほんの一部で、ほとんどの人が私と同じ思いでいます。今からでも開発の規制をかけて欲しいです。
- ・これだけ恵まれた自然環境を守るべき計画・規制を求めます。特にひらふ地区の乱開発が目につきます。世界から注目されるエリアなのでもっと計画的に開発をすすめるべきだと思います。
- ・現在の町民、特に10代、20代、30代の若者が是非倶知安で働き、倶知安町の美しい町づくりを推進して欲しい。合わせて、活気のある町づくり等
- ・町の空き地がアパートになり、空き家は外国人に買われ、改装されるがどの建物も外壁が黒やグレーのものばかり。街並みの色が暗い。

など

倶知安町緑アンケート

結果速報

- 目的：町民の、緑に関する意識や町における景観の状況等を把握し、「緑の基本計画」の見直しに活用すること。
- 実施期間：令和2年6月12日～6月30日まで。
- 配布数・回収数・回収率（市民）：

配布数	18歳以上の倶知安町民の中から無作為に抽出した1500名
6月30日時点 回収数	356名 (7月7日時点回収数 479名)
6月30日時点 回収率	23.7% (7月7日時点回収率 31.9%)

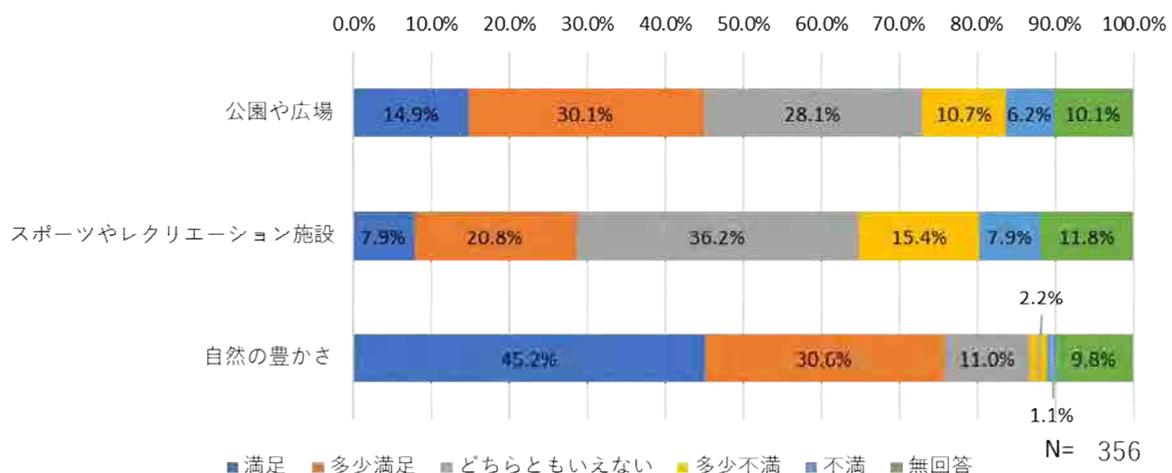
19

倶知安町緑アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

- 身近な生活環境について
 - ・「自然の豊かさ」に対して、「満足」「多少満足」が合わせて70%を超えており、高い満足度がうかがえる一方、「スポーツやレクリエーション施設」については、「満足」「多少満足」が合わせて30%未満にとどまり、満足度の低さがうかがえる。

【身近な生活環境について、満足しているか】



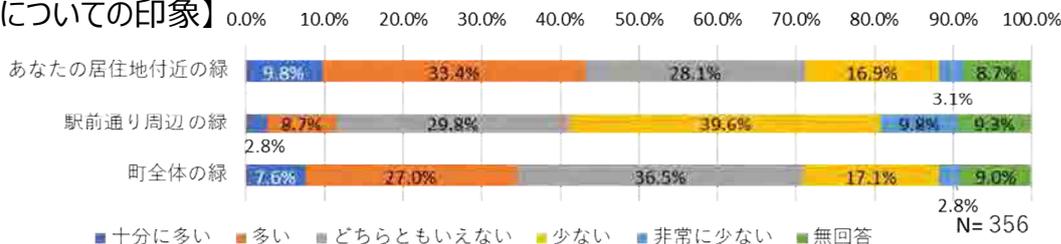
倶知安町緑アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■ 緑について(1)

- ・居住地付近、および町全体では緑の量は「十分に多い」「多い」合わせて30%を超えるが、駅前通り周辺では、「少ない」「非常に少ない」合わせて50%で、多いと感じている割合を上回る。

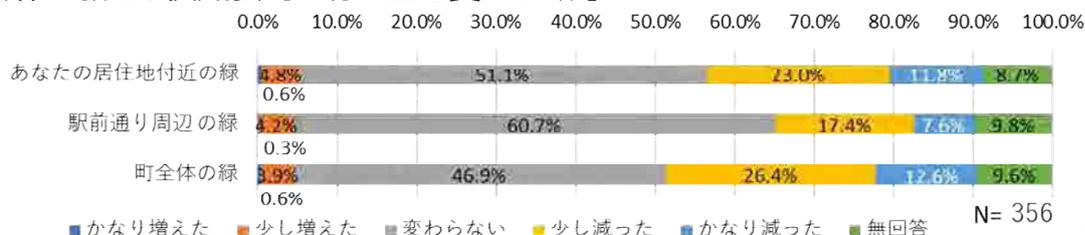
【倶知安町の緑の量についての印象】



■ 緑について(2)

- ・いずれのエリアでも、緑の量は「かなり増えた」「少し増えた」合わせて5%前後で、「少し減った」「かなり減った」が20%~40%となり、緑が減少していると感じている人が多いことがわかる。

【倶知安町に住み始めてから、倶知安町の緑の量は変わったか】



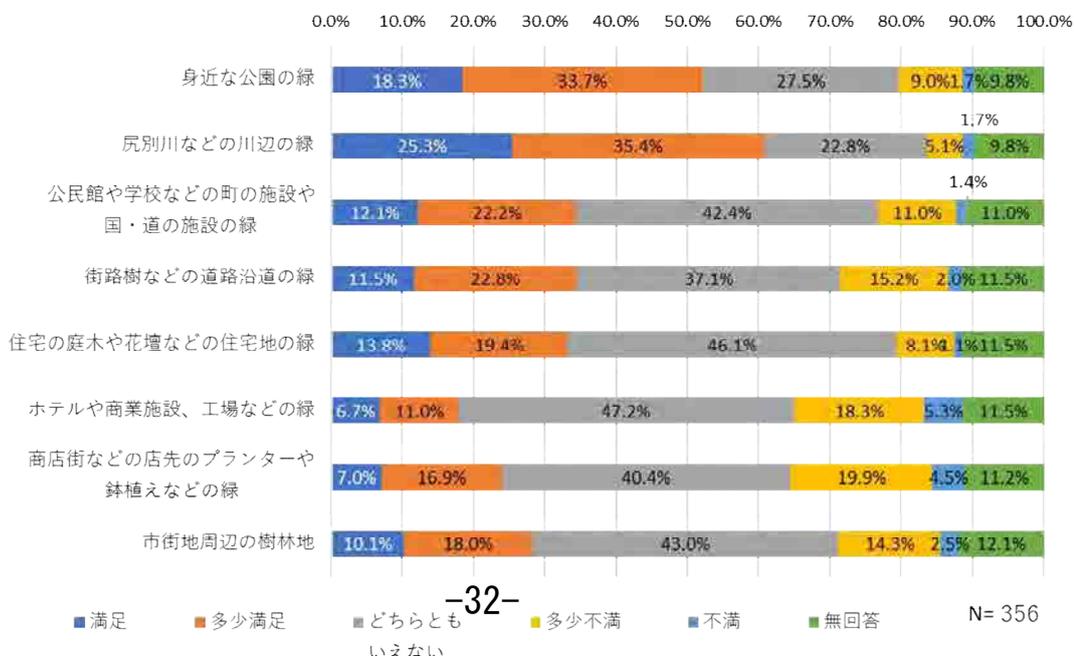
倶知安町緑アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■ 緑について(3)

- ・「身近な公園の緑」「尻別川などの川辺の緑」については、「満足」「多少満足」が合わせて50%を超える。
- ・「ホテルや商業施設、工場などの緑」については、「満足」「多少満足」が合わせて20%以下にとどまり、満足度の低さがうかがえる

【公園や施設などの緑の量について、満足しているか】



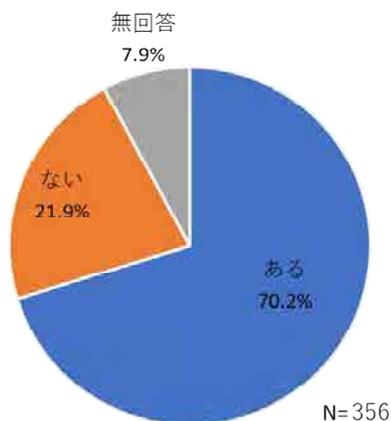
倶知安町緑アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■ 身近な空き地や広場について(1)

- ・居住地の近くに空き家や広場が「ある」と答えた人はおよそ70%であった。
- ・空き家や広場の使われ方として最も多いのは、堆積場としての利用であった。

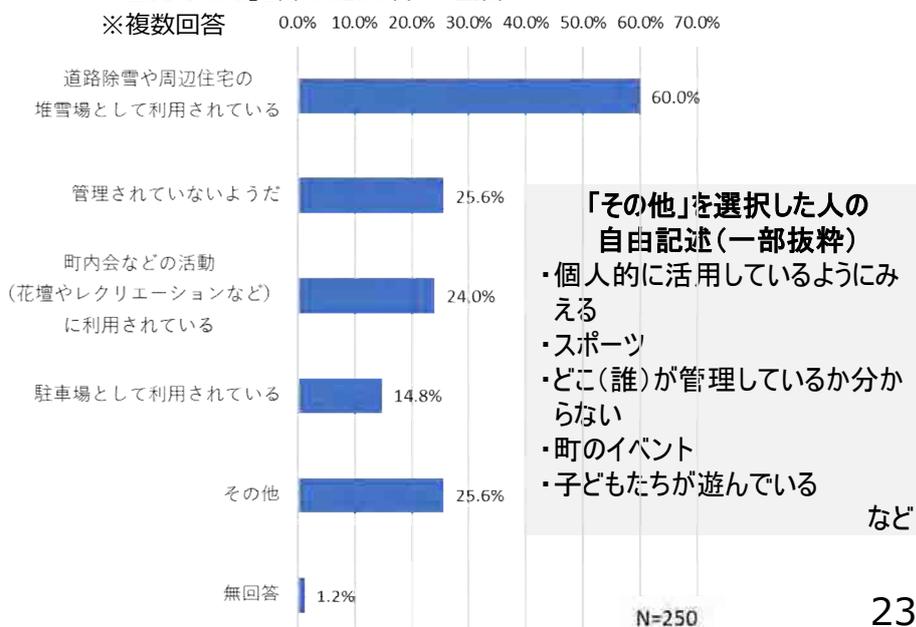
【居住地の近くに空き家や広場があるか】



【その空き地や広場はどのように使われているか】

※左記で「ある」と答えた250名のみ回答

※複数回答



「その他」を選択した人の自由記述（一部抜粋）

- ・個人的に活用しているようにみえる
- ・スポーツ
- ・どこ（誰）が管理しているかわからない
- ・町のイベント
- ・子どもたちが遊んでいる

など

23

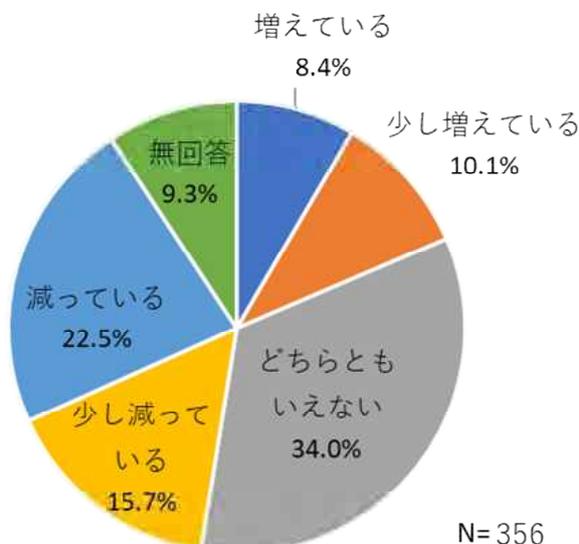
倶知安町緑アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■ 身近な空き地や広場について(2)

- ・住み始めたころと比べて、空き地や広場が「増えている」「少し増えている」と感じる人は合わせておよそ20%、「減っている」「少し減っている」と感じる人は合わせておよそ40%となった。

【倶知安町に住み始めたころと比べて、空き地や広場は増えているか】



倶知安町緑アンケート

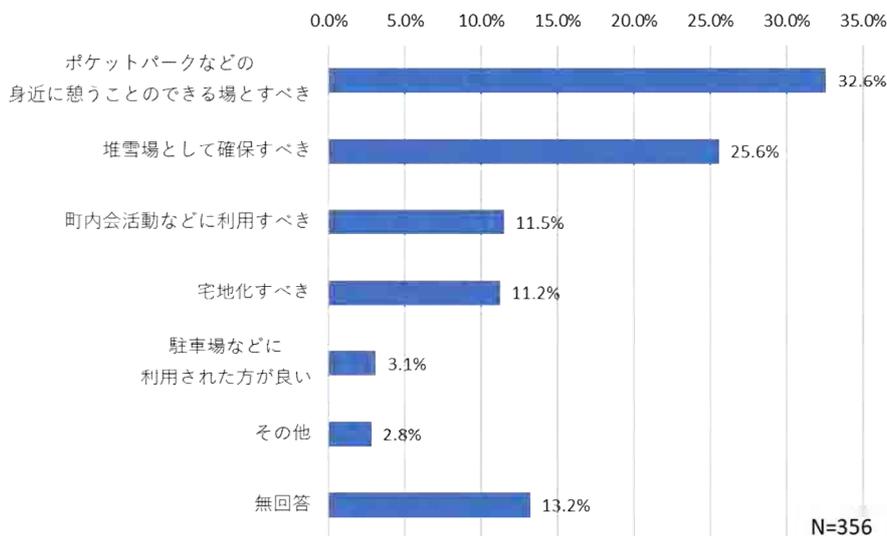
結果速報（倶知安町の現状）

■ 身近な空き地や広場について(3)

- ・空き地の利用の仕方について、「ポケットパークなどの身近に憩うことのできる場とすべき」と答えた人が最も多く、次いで「堆積場として確保すべき」と答えた人が多かった。最も少なかったのは「駐車場などに利用された方が良い」と答えた人だった。

【倶知安町の空き地や広場について、どのように考えているか】

※最も近いものを2つを選択



「その他」を選択した人の自由記述（一部抜粋）

- ・今のままで良い。
- ・福祉施設に安く貸し出す。
- ・外での健康づくりや交流の場として利用できるようにする。など

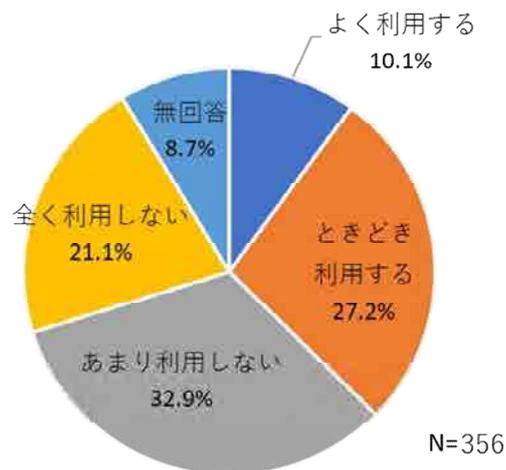
倶知安町緑アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■ 公園について(1)

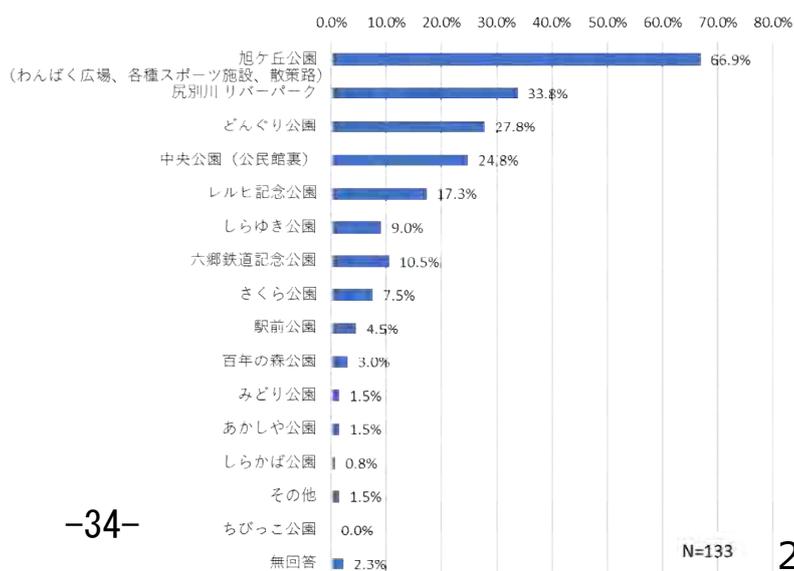
- ・公園の利用頻度は、「よく利用する」「ときどき利用する」が合わせておよそ40%なのに対して、「あまり利用しない」「全く利用しない」が合わせておよそ50%となっており、公園の利用頻度の低さがうかがえる。
- ・主に利用する公園は、旭ヶ丘公園を答えた人がおよそ70%で、最も多かった。

【倶知安町内の公園の利用頻度】



【主に利用する公園】

※左記で「よく利用する」「ときどき利用する」を選択した133名のみ回答

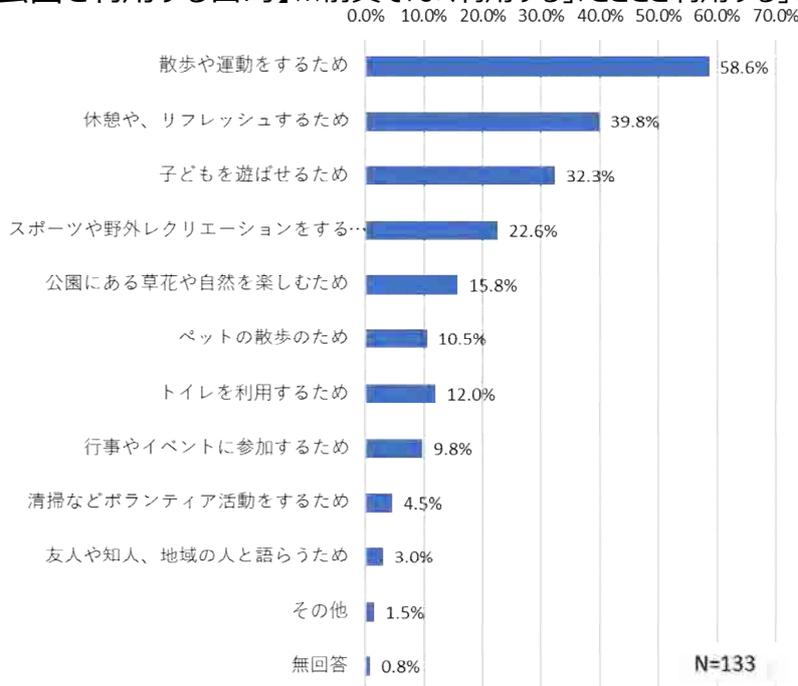


結果速報（倶知安町の現状）

■公園について(2)

- ・公園を利用する目的は、「散歩や運動をするため」が最も多く、ついで「休憩や、リフレッシュをするため」「子どもを遊ばせるため」であった。最も少なかったのは、「友人や知人、地域の人と語らうため」であった。

【公園を利用する目的】※前頁で「よく利用する」「ときどき利用する」を選択した133名のみ回答



「その他」を選択した人の自由記述内容(一部抜粋)

- ・羊蹄山、ニセコアンヌプリの観賞
- ・おにぎりとホットコーヒーをもって、のんびり体を動かしたり、羊蹄山をみながら自然と触れ合える時間がスキ！！

など

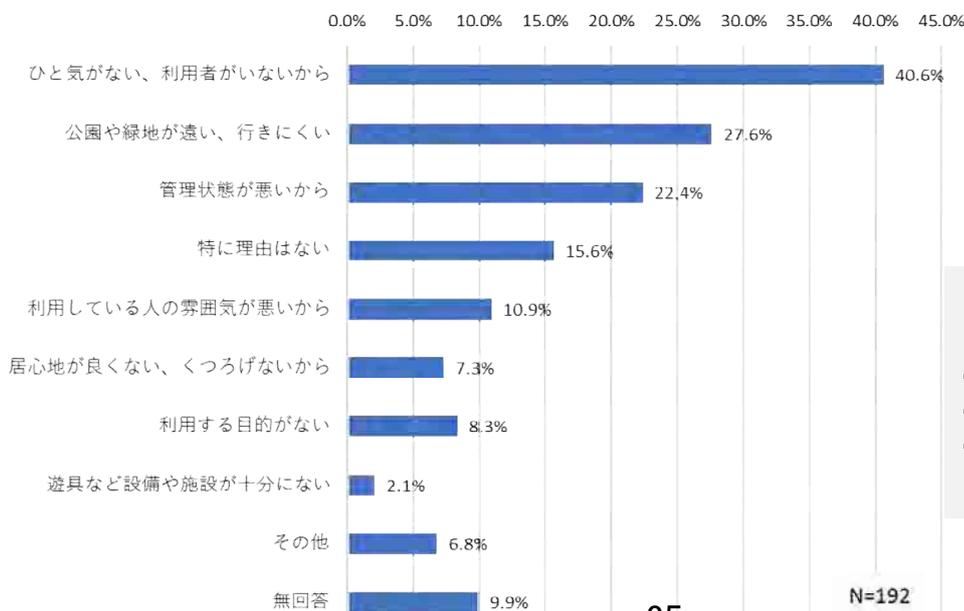
N=133

結果速報（倶知安町の現状）

■公園について(3)

- ・公園を利用しない理由は、「ひと気がない、利用者がいないから」が最も多く、ついで「公園や緑地が遠い、行きにくい」「管理状態が悪いから」が多い結果となった。最も少なかったのは、「遊具など設備や施設が十分でない」であった。

【公園を利用しない理由】※前頁で「あまり利用しない」「全く利用しない」を選択した192名のみ回答



「その他」を選択した人の自由記述内容(一部抜粋)

- ・利用したい公園がない
- ・花粉症なので近づきたくない
- ・子どもと行くのに近所がない

など

N=192

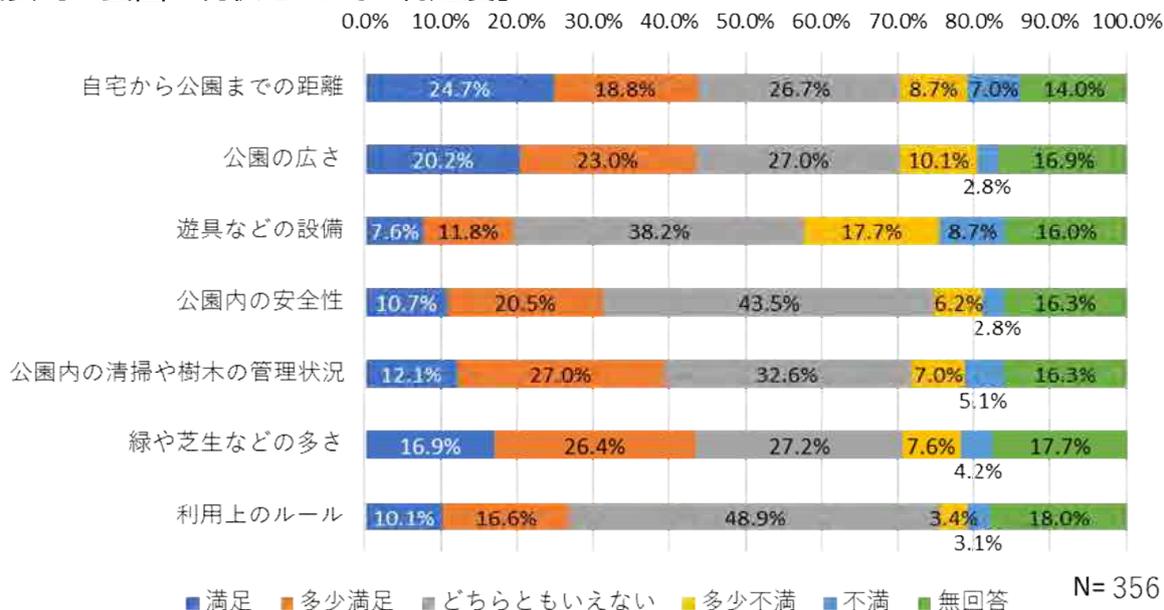
倶知安町緑アンケート

結果速報（倶知安町の現状）

■公園について(3)

- ・公園の現状についての満足度について、全体的に「満足」「多少満足」を合わせた割合が「多少不満」「不満」を合わせた割合より高い中、「遊具などの設備」については、「多少不満」「不満」を合わせた割合が25%超え、「満足」「多少満足」を合わせた約19%を上回った。

【倶知安町の公園の現状についての満足度】



倶知安町緑アンケート

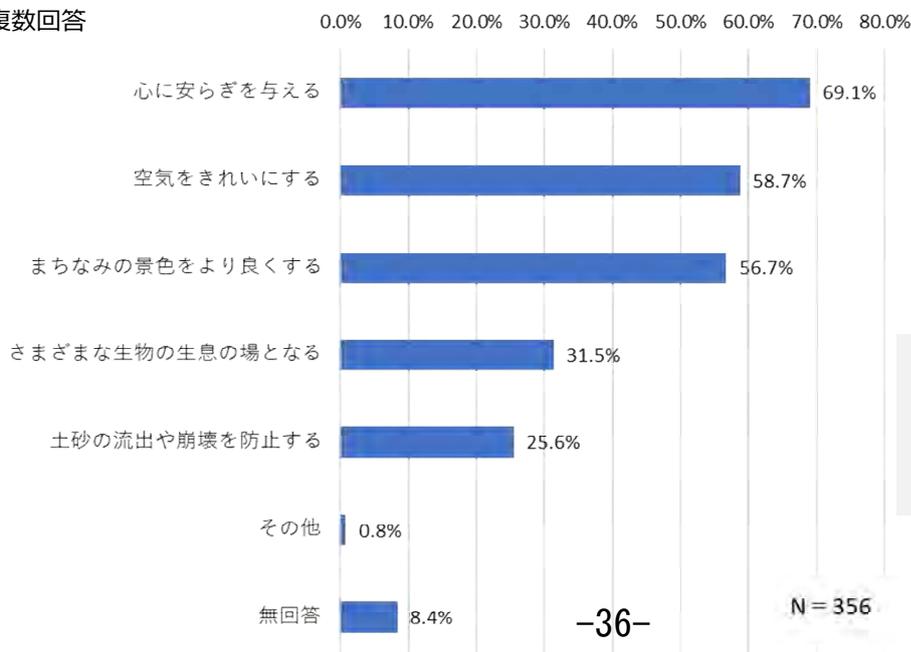
結果速報（倶知安町の緑と公園について）

■緑について(1)

- ・緑の役割や機能、期待しているものについては、「心に安らぎを与える」と答えた人が、最も多い結果となった。最も少なかったのは、「土砂の流出や崩壊を防止する」だった。

【緑の役割や機能、期待しているもの】

※複数回答



「その他」を選択した人の
自由記述(一部抜粋)
・夏場は日陰になってくれる
等

倶知安町緑アンケート

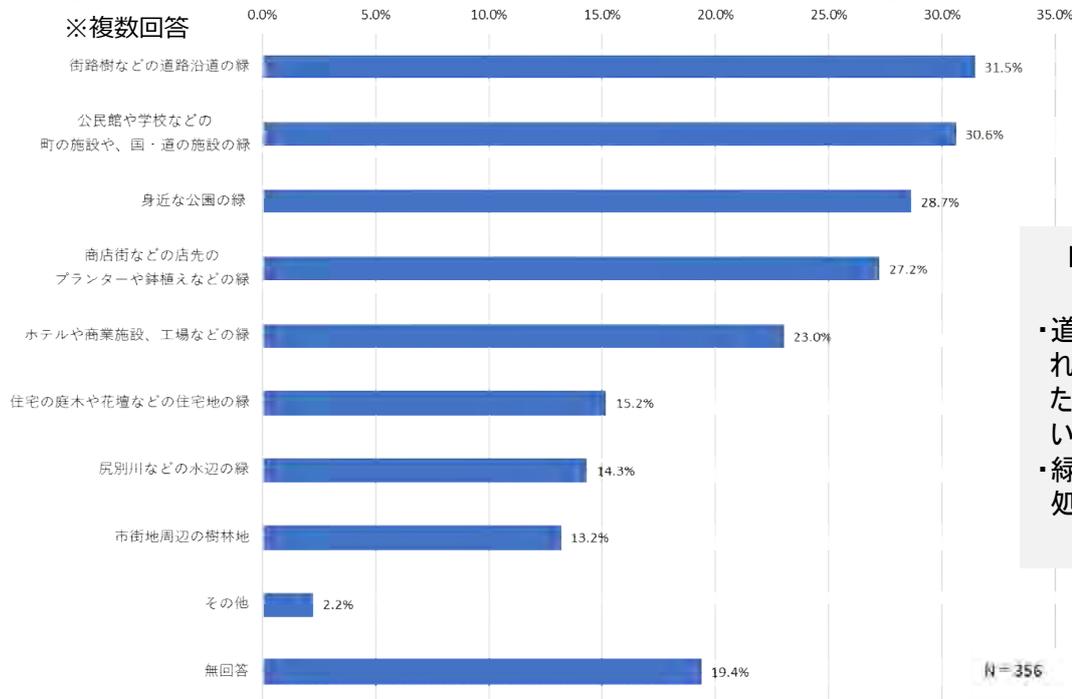
結果速報（倶知安町の緑と公園について）

■ 緑について(2)

- ・緑の量を積極的に増やすべきだと思う場所については、「街路樹などの道路沿道の緑」と答えた人が最も多かった。最も少なかったのは、「市街地周辺の樹林地」だった。

【倶知安町の中で、緑の量を積極的に増やすべきだと思う場所】

※複数回答



「その他」を選択した人の自由記述（一部抜粋）

- ・道路沿道の緑について、倒れたり、折れた木が撤去されたあと、再び植林されていないところが多い
- ・緑を増やしても、雑草等の処理が必要となる

など

N=356

31

倶知安町緑アンケート

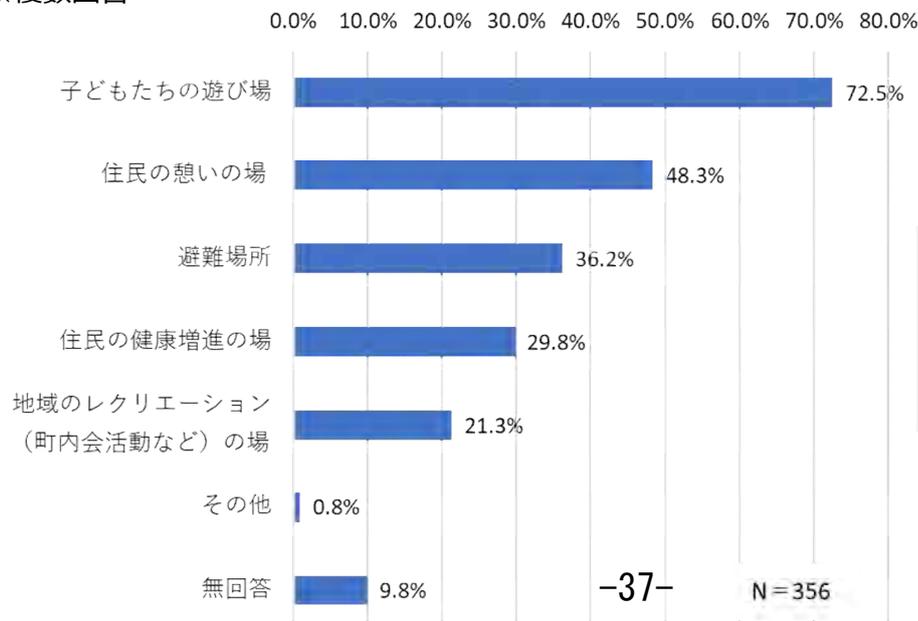
結果速報（倶知安町の緑と公園について）

■ 公園について

- ・公園の役割や機能、期待するものについては、「子どもたちの遊び場」が最も多い結果となった。最も少なかったのは、地域のレクリエーション（町内会活動など）の場」であった。

【公園の役割や機能、期待するもの】

※複数回答



「その他」を選択した人の自由記述（一部抜粋）

- ・雪捨場

など

-37-

N=356

32

倶知安町緑アンケート

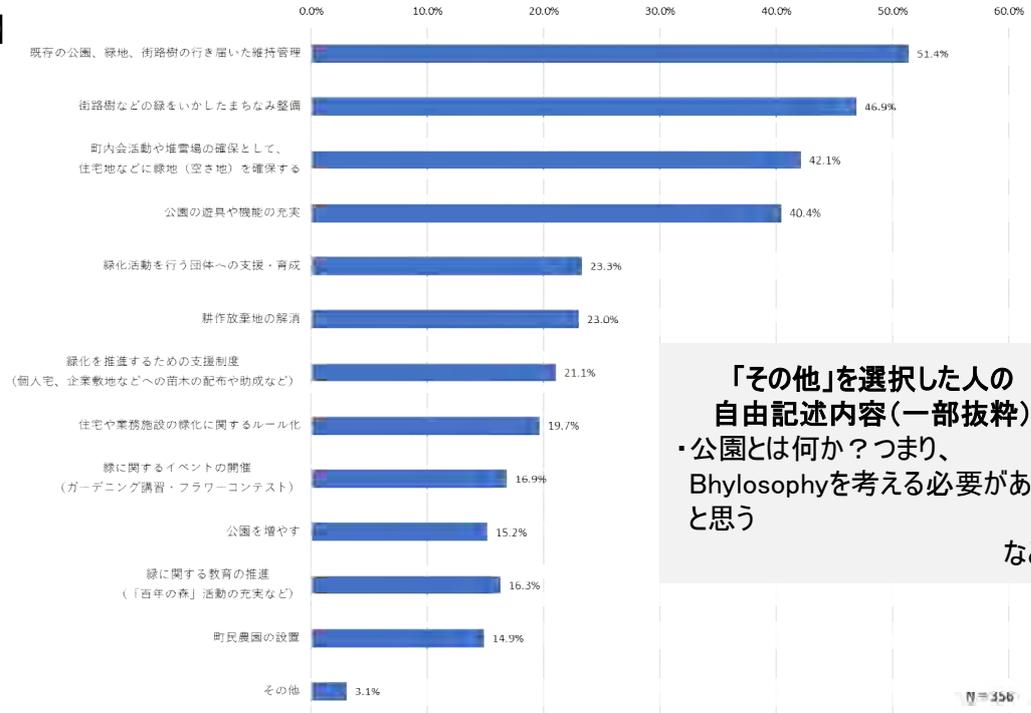
結果速報（倶知安町の緑や公園・広場に関する取り組みについて）

■ まちの取組について

- ・必要だと思う取組については、「既存の公園、緑地、街路樹の行き届いた維持管理」が最も多く、ついで「街路樹などの緑をいかしたまちなみ整備」「町内会活動や堆雪場の確保として、住宅地などに緑地（空き地）を確保する」が多い結果となった。最も少なかったのは、「町民農園の設置」であった。

【必要だと思う取組】

※複数回答



「その他」を選択した人の自由記述内容（一部抜粋）
 ・公園とは何か？つまり、Bhylosophyを考える必要があると思う
 など

33

倶知安町緑アンケート

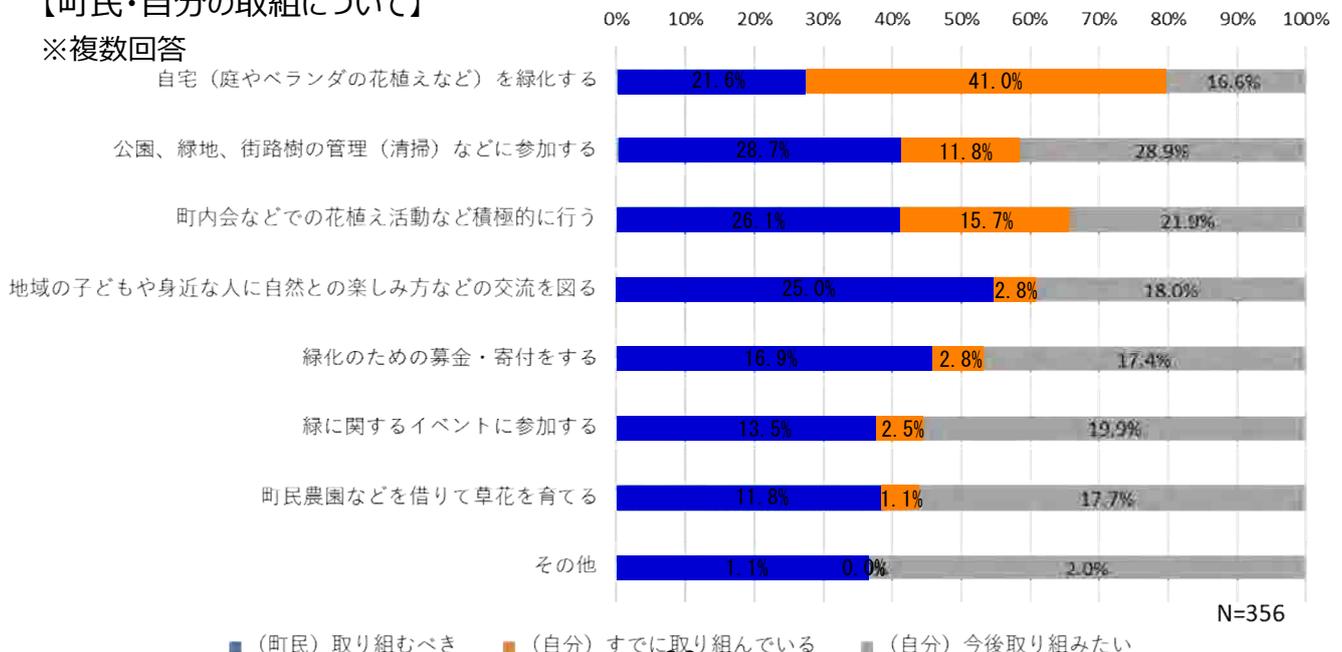
結果速報（倶知安町の緑や公園・広場に関する取り組みについて）

■ 町民の取組について

- ・町民または自分の取組については、自分ですでに取り組んでいることで「自宅を緑化する」が最も回答数が多い結果となった。
- ・町民が取り組むべき、または自分が今後取り組みたいこととしては、「公園、緑地、街路樹の管理（清掃）などに参加する」いずれも最も多い結果となった。

【町民・自分の取組について】

※複数回答



N=356

■ (町民) 取り組むべき ■ (自分) すでに取り組んでいる ■ (自分) 今後取り組みたい

結果速報（その他自由意見）

【その他緑や公園・広場についての意見（自由記述） 一部抜粋】

- ・補助金・負担金ありきではなく、ゼロ予算で、地域住民が自発的に民間と協力した老若男女、国際交流できる子育てにも、免疫力を高めることができるプレイパーク（集える公園）づくりが必要な時代なのではないでしょうか。国際的に注目される景観づくりに期待しています。
- ・公園などは充実しているけど、住宅街の緑は少ないと思う。
- ・公園・広場のたくさんあることを知りました。これから高齢化のますます進むとき、町民の憩いの場となる公園・広場が必要と思います。車いすで草花や花木を巡り、知人とおしゃべりのできる場が東西南北に一つずつあり、じゃがりん号で訪れることができたらと思います。
- ・空地を活用して緑化に取り組んで欲しい。
- ・市街地や住宅地にある木が切り倒されてしまってとても残念に思いました。現在役場の建替え作業が行われていますが、以前その場所にあった大木が切られてしまってとても残念です。個人的には草花よりも木を植えてほしいと思います。木は酸素を提供するだけではなく酷暑には良い日陰になり、緑は思った以上に人の心をいやす力があるのです。木が戻ればもちろん、鳥や虫が木にやってきますが、邪魔なものとはみなさないで、うまく人間と共存できるようにしてほしいです。
- ・このアンケートを機に町内の緑についてよく観てみると駅前通り、体育館周辺など人の目につきやすい場所もあまりきれいに管理（草刈り等）されているように思えませんでした。せめて、町の施設や駅周辺などは町の事業としてさらにきちんと委託したほうがよいのでは。雑草がのびていて魅力的だとは言えなかった。店先の花も同じ。花屋にお願いし、定期的に変えるなど街中をトータルコーディネートしてもらうのはどうか？
- ・公園や広場に樹木や多年草の花などを配置して癒しの効果を発揮させることを望むが、冬期間の雪の堆積場所の機能を損なわないように配慮する必要性とのバランスを取ることが難しい。
- ・最近町内の公園などが、遊具の仕様を禁止にしている所が目立ってきており、なんだか寂しい気持ちになります。危険などの思いもあるのでしょうけど、少し過剰な考え委になっていないか新パオです。難しい問題ではありますが、何が大切かしっかり考慮し、よい町づくりの一步になればと思います。

…など 35